

# 2019年度 事業報告



## 社会福祉法人 足立邦栄会 障害者支援施設 みずき

障害者支援施設（生活介護Ⅰ・Ⅱ）

障害者支援施設（施設入所支援）

障害福祉サービス事業（短期入所）

地域生活支援事業（日中一時支援）

心身障害者（児）委託型ショートステイ事業

## 目 次

I	全体	・・・	P 3
II	生活支援部門	・・・	P 5
	・入居支援課（生活介護Ⅰ／短期入所）		
	・通所支援課（生活介護Ⅱ／委託型短期入所／日中一時支援）		
	・医務科（全体／入居支援課／通所支援課）		
	・リハビリテーション科		
	・栄養科		
	・地域支援科		
III	管理部門	・・・	P 18
	・管理課		
IV	会議・委員会	・・・	P 20
	・リスク管理会議／安全委員会		
	・人材育成会議／介護技術向上委員会		
	・権利擁護推進会議		
	・広報会議		
	・活動編成会議		
	・イベント会議		
	・地域支援会議		
	・日中活動委員会		
	・食事委員会		
V	データ	・・・	P 28
	・入居支援課通期データ（人事・労働安全衛生・利用実績・苦情相談・事故ヒヤリ）		
	・通所支援課通期データ（人事・労働安全衛生・利用実績・苦情相談・事故ヒヤリ）		
	・利用状況集計（入居支援課／通所支援課）		
	・日中活動実績（通所支援課）		
	・実習・研修等実績（実習・外部研修・内部研修）		
	・医療状況（入居支援課受診状況／通所支援課医療状況）		
	・食事提供数集計表		
	・諸会議実施報告		

# I みずき全体

【みずき全体】 『みずきを耕す ～支援・人材・地域という土壌を豊かに～ 』	
通期	<p>地域交流、医ケア含む重度身体障害者支援、人材確保など目的とした、みずきとしての新しい取り組みはいくつも始めることができました。</p> <p>一方ご利用者支援に係る虐待の発生や苦情の受付、職員の退職・休職、不満・不安など、課題も噴出しました。</p> <p>それら一つ一つに丁寧に向き合い、且つみずきとして強いメッセージを出していくため、次期は「四つの“信” ～信念、信頼、自信、信用～」をテーマとすることにしました。私たちが成し得た成果を認識し発信し（でも自信過剰にならず）、これから取り組まなければならない課題に正面から向き合って（でも自信喪失せず）、前に進むための事業報告です。</p>
重点目標 柱となる目標	
重点目標	① つながるケアプラン
通期	<p>・アドバンス・ケア・プラン（ACP。終末期を視野に入れた意思確認）については、昨年度からの継続課題として、実際にどのように取り組んでいくのか、検討チーム内で書式の作成等共通認識を持てるように取り組みました。しかし書式に沿った実際のご利用者・ご家族への聞き取りには至りませんでした。そんな中でも1名のご利用者の看取り支援を希望に沿って実施し、ACPの重要性を実感しました。</p> <p>ただみずきでの指針・書式の作成に留まり、また第三者評価でも改善点として職員一丸となつての取り組みを期待するとの指摘を受けるなど、実践という点では達成度は低くなります。しかし実際の看取りの中から学んだことも多く、ACPの重要性を再認識したので、入居支援課の中で新年度の継続的重点目標としました。</p> <p>・サービス等利用計画についての内部研修を実施し、相談支援との連携の意識が深まるようにしました。理解は深まったものの、さらに協働して連携を深めていくことが課題です。</p>
重点目標	② みずき品質の確立
通期	<p>・会議議題の事前配布を掲げていますが、実施できている所そうでない所と差が出てきている状況です。また職員体制が厳しくなった部署は、質の改善に取り組む余力を持ってませんでした。会議の持ち方については、役職者中心に意識が高まっており、漫然と集まるのではなく、目的や内容、進行など、事前に準備して臨むようになっていきます。人材育成と組織の成熟といった観点での会議の活用は進んでいると認識しています。</p> <p>・「テーマ別研究&amp;実践発表」については4月に昨年度の発表を実施し、今年度の募集をかけましたが自発的な応募に乏しく、働きかけも弱くなってしまい、実施できませんでした。みずきとしては尻切れトンボになってしまいましたが、法人の育成チームの事例発表として新たに取り組みがスタートすることになります。</p>
重点目標	③ 行動規範の浸透・具体化
通期	<p>4月の事業計画説明会で新しい行動規範を紹介し、その後多摩ブロック会議を検討の場とし、行動例の募集、いいねコメントの提出など、多摩ブロック会議がエンジンとなり、全職員を対象とした取り組みを進めました。年度末には、上記取り組みをまとめた「多摩ブロック行動規範まとめ～私たちが大切にしたいこと～」を完成させました。</p> <p>二年度にわたる取り組みになりましたが、何度も職員に投げかけをして、成果物を作ることができました。成果物で一つの区切りとはなりますが、7項目17条の行動規範を、職員一人ひとりの行動規範として浸透するような仕掛けを新たにしていける必要があります。</p>
重点目標	④ 働きやすい職場環境
通期	<p>法人プロジェクトが主体となった新卒採用ではみずきで2名の採用となりました。また有給休暇取得の推進を打ち出しましたが、入居支援課、栄養科、管理課といった職員体制が厳しくなった部署については、取り組みを推し進められない状況になってしまいました。</p> <p>身体的ケアに関する福利厚生を試行しています。今年度の申請者は多くありませんでしたが、継続を望む声は多くありました。</p> <p>外国人技能実習生支援は、通所支援課で多くの労力を割き試行錯誤しながらも、着実に進んでいます。</p> <p>目標に沿った取り組みは実施できました。しかし離職率の高さ、第三者評価の職員自己評価に表れた厳しい声・数字などは、少なくない職員が働きやすいと感じていないことを物語っています。職員が働きやすいと感じる職場環境を作るには、組織のサポート、チームワーク、コミュニケーションといった相互理解を目指す組織的な取り組みが伴っていないことを痛感しました。</p>

⑤	働きがいを感じられる人材育成
通期	<p>法人人事考課制度は確実にこなっておりPDCAサイクルは確立しているものの、一部雑だったり徹底できていないところもあります。</p> <p>一方特に入居支援課で、退職者、休職者、不満を抱える職員が続出し、チームワークが高められない状況になりました。</p> <p>内部研修は計画に沿って、外部研修は積極的に取り組みましたが、職員体制が研修の実施にも影響しています。</p> <p>人事考課については、人材育成につながっているのかという検証がそろそろ必要になってきていると言えます。</p> <p>チームワークづくりのため現場は必死に取り組んでいますが、みずきとしての明確な姿勢がもっと必要と考え、新年度の事業計画に「伝え合い、認め合い、確認し合う」ことをテーマとした重点目標を立てました。</p>
⑥	利用目標・予算管理の見える化
通期	<p>施設入所支援／生活介護Ⅰについて、5～7月に入院者が続出したこと、退所に伴う空床期間が長かったことなどにより、目標利用率を達成できませんでした。生活介護Ⅱも下半期複数の利用終了などがあり、目標を下回りました。短期入所は順調な利用実績でした。予算（執行管理）、制度（特定処遇改善等）については、その都度必要な対応、周知を行ないました。前年度の身体拘束廃止未実施減算の実施もありました。</p> <p>利用目標の達成、予算の効率的執行、削れる支出の削減など、さらに具体的な取り組みが必要です。</p> <p>また府中市の監査でも指摘された、長期資金計画・修繕計画の策定を、新年度の重点目標の一つとしました。</p>
⑦	新しい時代に向かう地域貢献・事業展開
通期	<ul style="list-style-type: none"> <li>・重症心身障害児（者）通所事業の開始については、予定より1ヶ月遅れましたが順調にスタートできました。重症心身障害児（者）通所事業の開始により給付費収入は増えました。事業目的に沿った支援の充実は引き続き重要です。</li> <li>・カフェの設置・厨房の拡張を軸とした増築改修工事については、検討チームで検討重ねました。また補助申請等進め、工事を進め、カフェ部分は年度末に完成しました。「カフェを作る」から「カフェにより地域とつながる」に、新年度は移行しなければなりません。</li> </ul>

## II 生活支援部門

<b>【入居支援課】</b>	
通期	年間を通して3名のご利用者が亡くなりましたが、いずれもご本人の意向をしっかりと確認ができないままターミナル期を迎えることになりました。しかし、うち1名の方については職員配置が厳しい中でしたが、課題を多く残したものの、ご本人・ご家族の意向に沿ってみずきで看取ることができました。一方で職員体制については、年末・年始に退職者が続出し、職員配置が十分に組めない状況がしばらく続きました。第三者評価の指摘もありましたが、役職者が積極的に各職員とコミュニケーションを図り、メンタルフォローやチームワーク作り、職員育成に力を注いでいくことが次期の意向の大きな課題です。
<b>生活介護 I</b>	
重点目標1 アドバンスケアプラン(ACP)を通して、ご利用者(ご家族)の想いを共有し、最善の「もしものとき」が迎えられるようにする	
通期	上期の取り組み以降について、実際にご利用者・ご家族等への聞き取りについては、デリケートな内容だけに対応者とご本人(ご家族)との話し合いの機会が持ちづらく、人手不足も加わり1ケースも取り組むことができませんでした。昨年度末に看取り支援を実施し、改めてACPの意義を痛感したこともあり、次年度は1ケースでも多く話し合いの機会を持つように努めていきます。
重点目標1	① 生活支援員及び関係部署へACPの説明を行ない理解を図る
	通期 ACPについて、職員向けに説明や資料配布を実施してから年度末まで実際の取り組みが無く、職員の顔ぶれも多く変わっていることから、次年度は職員向けに改めて理解を図る取り組みに加え、実際にご利用者・ご家族との話し合いの記録を確認することで、理解の推進に繋がればと考えます。
	② ご利用者へ個別または利用者会議等で説明を行ない、自身のことを考えていただく
	通期 上期の取り組み以降はご利用者・ご家族に対するアプローチはできませんでした。昨年度検討した取り組みの優先順位の高い方や、入院等を経て状態低下が生じた方から、話し合いの機会を設けていくようにします。
	③ 優先的に取り組む対象のご利用者、ご家族との話し合いを下半期から行なっていく
通期 上期の取り組み以降、下期は入院に伴う状態低下によりACPの取り組む必要性が生じたケースもありましたが、ご利用者やご家族との話し合いの場を設けられないまま、職員不足やウイルス感染症などの問題が発生し、年度内に1ケースも実施することができませんでした。	
重点目標2 利用者支援(日常介助含む)において、PDCAサイクルを通して支援内容や目的(根拠)を専門職を含む職員間で共有し、サービスの質の向上に努める	
通期	下期は休職や退職者が多く発生したことによる人員不足が生じ、月例のユニット会議の実施が困難になりました。そのため、リスクの程度や内容により生活支援員と役職による確認、専門職を交えて検討するケースなど、形式に拘らず様々な形で検討し、情報共有・サービスの質の維持に努めました。
重点目標2	① 個別支援計画に基づく支援及び日常介助(対応)についてPDCAを意識して取り組む
	通期 個別支援計画に基づく支援のうち、日頃のご利用者対応の中で意識的に行う支援については概ね実施できている状況でしたが、個別に時間を設けて対応する支援内容については人員不足の影響にて支援が滞るケースが多くありました。中間のモニタリングや次年度の立案に向けた取り組みについてもサビ管より早めの発信を行いました。同様の理由で遅延するケースもありました。
	② 緊急時等やむを得ない場合を除き、支援の見直しは会議で実施し、決定事項について職員間で納得や共通の理解が図れるようにする
	通期 人員不足の状況から月例のユニット会議が組めず、退院時の支援検討はカンファレンス、日常のケアについてはサビ管・役職を交え確認する形で実施しました。また、情報の発信についてはサビ管またはケア担当者を意識して取り組みました。
	③ ヒヤリハット・事故報告を共有し、支援に活かすサイクルを再構築し、ヒヤリハット報告件数の増加、支援の質の向上の好循環を図る
通期 課内係の働きかけはあるものの報告・検証の流れについて円滑に行われない状況が続いています。同様事例の再発防止が重要であることから、ヒヤリ・事件事例集の掲示、件数や内容についての個別配布、業務日誌や課内LANでの周知にて補っている状況です。	

重点目標3 仕事に対するモチベーションを維持、向上できるように努める	
通期	下期には休職や退職が多く発生したことにより、生活支援員の基本配置が組めない状況が多くありました。そのため、ご利用者に対する積極的な支援は難しく、日々の介助業務の提供を維持するのが精いっぱいな状況で、仕事に対するモチベーションの点ではかなり厳しい環境でした。
重点目標3	① 人事考課面談にて、階層や役割（他者）期待を踏まえた目標設定と適切な評価ができるように努める
	通期 年度途中で役職者の退職などにより、下期の考課ペアが急遽変更になるなど、考課環境として好ましくない状況が一部生じましたが、考課内容や目標設定などにおいてはキャリアパスに沿った内容で実施できていたと考えます。
	② 職員が相談しやすい関係や環境作りを役職者として意識する
	通期 直接的な口頭での相談に加え、業務に関する各職員の気づきについてはケアステーション内にポストを設置し相談や意見を出しやすい環境設定を行いました。また、日頃から相談しやすい、話しかけやすい関係作りにも意識してきたつもりです。相談内容によっては課の運営会議にて検討し解決を図りましたが、なかなか解決に繋がれない事案もありました。
③ OJTを中心になって推進する役割を配置し、職員の希望を把握し、希望や能力に応じた研修に繋がられるようにする	
通期 上期後半に引き続き人員不足が深刻でOJTチームによる研修活動の実施は困難でしたが、人材育成会議主導による動画研修については、各職員にとって必要性や興味のあるプログラムについて一定人数受講することはできました。次年度は改めてケアの質やチームワークの向上に寄与する研修を実施していきます。	
重点目標4 権利擁護意識の向上を図る	
通期	下期は一層職員体制において厳しい状況になり、またコロナ禍もあり、外出や入浴などをはじめ様々なサービスの縮小を余儀なくされましたが、都度ご利用者に理解いただけるよう努めました。また、1件虐待事案が発生しましたが、日頃のご利用者との関わりの中で職員が追い込まれてしまったことが原因の一つとして挙げられ、利用者の権利を護る為にも、職場環境を整えていくことが大切です。
重点目標4	① 行動制限（権利侵害）について、利用者支援を通して職員が理解できるよう働きかけ、行動制限を回避する意識が根付くようにする
	通期 年間を通して新たに行動制限を行うことはありませんでした。上期に引き続き、短期入所ご利用者におけるセンサーマット使用に際しては、実施中の記録を確実に残すよう適宜課内LAN等により働きかけを行っています。
	② やむを得ず行動制限を行う場合は、実施前に3要件（緊急性・一時性・非代替性）を満たしているかの検討、実施にあたっての計画書の作成及び同意確認、実施したことの様子がわかる記録の作成、1ヶ月毎の評価を確実にこなす
通期 年間を通して入居利用者への行動制限は無し（コロナ禍における施設対応基準に伴う制限は除く）	
重点目標5 サービス等利用計画との整合性を意識して個別支援計画を作成する	
通期	整合性に関する上記課題について、幾人かの生活支援員よりしばしば意見が聞かれることもあり、少しずつではありますが、サービス等利用計画への意識は高まっていると考えられます。
重点目標5	① サービス管理責任者として相談支援専門員と連携が図れるように、相談員への報・連・相を意識して実施していく
	通期 上期同様、相談支援専門員との連携については、サービス管理責任者が窓口となりモニタリングや情報共有を適宜実施しています。セルフプランで行っているご家族との関わりについては十分に対応できているとは言えない状況です。
② サービス等利用計画に則した内容になるように個別支援計画を立案し、内容について相談支援専門員と共有できるようにする。伴って、支援職にサービス等利用計画が意識されるようにしていく	

通期	サービス等利用計画についてはご利用者の個別ファイルにて閲覧できる環境になっています。ただ、双方の作成時期の問題により、整合を意識して作成しているとは言い切れず、結果として概ね整合している状況です。
<b>短期入所</b>	
通期	利用率は年間平均にして目標の100%を超えました。 職員の入退職により体制が不安定である影響は大きく、支援力も不安定となり、空床が出た場合に要望があっても積極的な受け入れをすることが出来ませんでした。 安定した支援体制なくして安全な支援の提供、支援力の向上は図れず、来期への継続課題となります。
<b>重点目標1 短期入所事業の理解を図る</b>	
通期	職員体制の不安定が進み、通常の職員配置もままならない状況となった為、職員会議が10月より中止となりました。予定していた座学の研修機会がなくなるだけでなく、入退所受け入れ研修の実地にもつなげることが難しくなり、十分な短期入所事業の理解を図ることは出来ませんでした。
重点目標1	① 短期入所事業の理解と入退所業務の研修を職員に実施する
通期	下半期さらに職員体制が不安定になり、10月より研修機会であった職員会議がなくなり、実施をすることが出来なくなりました。直接業務以外とは別に時間を設けることも検討しましたが、職員への業務負担も考え、結果今年度の実施を中止としました。
<b>重点目標2 支援体制の向上を図り、利用者支援の充実につなげていく</b>	
重点目標2	① 入居支援課職員会議内において短期入所ご利用者に対する課題解決サイクルを実践し、定着をはかる
通期	10月より職員会議がなくなった為、率直な現場職員の意見を聞き取る機会がなくなりましたが、課題については、引き続き月1回の短期入所調整会議にて検討し、対応については連絡帳で情報を共有しました。
重点目標2	② 個別マニュアルの見直し、新規作成を行なう
通期	順次進めていますが、当初目標としていた状況には至ってはいません。 引き続き進めていきます。
<b>重点目標3 利用率100%を目指す</b>	
重点目標2	① 病院や施設への訪問をすることでニーズを把握し、可能な限り利用につなげる
通期	訪問機会の調整がつかず、実施出来ていません。
重点目標2	② 行政や相談支援等との連携を積極的に図っていく
通期	昨年度に比べ利用相談件数は減少しています。 職員体制上、新規受け入れを積極的に行っていないことありますが、新規ご利用者は 名でした。

<b>【通所支援課】</b>	
通期	外国人技能実習生の受け入れ、重心通所事業の開始、送迎の業務委託等様々な展開がありました。他部署の協力や職員の尽力により大きなトラブルもなく、事業運営が行えたと思います。
<b>生活介護Ⅱ</b>	

重点目標1 ご利用者の願い・希望・夢を叶える為に支援者として何をすべきかを改めて考え、みずきだからこそ出来るという内容のケアプランを作成する。その為にもご本人への歩み寄る機会を増やすと共に相談支援や他事業所等との連携も深める事で本当のニーズをケアプランに反映させるようにしていく		
通期	ケアプランの達成状況としては全体的に悪くはありませんでしたが、上半期同様サービス等利用計画との整合性という点においては無いものもありました。	
重点目標1	① ケアプランに沿った支援を行なっていく為にも、みずきとして何をすべきかを各関係者にも相談の上、質の高いサービス提供を行なっていく	
	通期	下半期は相談支援のモニタリング等も含め、ある程度の連携は図れていましたが、質の高さまでは追求出来なかったように思います。
	② PDCAサイクルの確立・・・アセスメント、プラン原案作成、ご利用者確認(面談)、プランの実施・記録、中間評価(モニタリング)、半期見直し(面談等)、期末評価といった流れをさらに確実にこなしていく	
	通期	PDCAサイクルを意識した支援が年間を通して出来ていたと思います。
	③ 必要あれば多職種を交え評価をしっかりと行なう事でその先(中期目標・長期目標)につながるケアプランであったかを確認し、次年度以降に反映する	
通期	各ケア担当がグループ会議などで現状の把握と振り返りを行い、日々の支援に反映させる事が出来ていました。	
重点目標2 ご利用者の身体状況に応じた日中活動を展開する		
通期	活動自体はご利用者の障害状況に合わせてメニューを考え、それぞれ参加して頂く事が出来ました。一方で上半期同様担当者の事前準備等の負担は大きかったように思います。	
重点目標2	① 通常の日中活動ではご利用者ニーズに則った複数メニューの検討を進めると共に新たに日中活動の講師を迎え、メニューを拡充し支援の幅を広げていく	
	通期	日中活動講師による『ひょうげん探検隊』の活動は、参加者それぞれの個性が存分に引き出されたものとなっていました。I課の利用者にも参加してもらい、楽しい場を提供出来ていたと思います。他の活動についても季節ごとの創作やお菓子づくり等様々なメニューの提供が出来ました。
	② 個別支援を提供する上でしっかりとご利用者に向き合った対応を心がけ、計画的且つ確実に実施していく	
	通期	施設内で提供した個別支援は利用者それぞれのペースに合わせて対応してきました。外出支援に関しては後半実施予定だったもののほとんどが新型コロナウイルスの影響により概ね中止とした為、次年度に今年度分も提供する事になりました。
	③ 1日外出はご利用者の体調を考慮して暖かい春に実施する	
通期	昨年度同様5月に遠距離、6月に近距離の2日外出を実施しました。いずれも天気に恵まれ安全且つ楽しんで頂けました。	
重点目標3 安心・安全、質の高い支援・介護の提供をするための取り組みに力を入れる		
通期	事故件数の多さがやや目立ったものの日常のケアにおいては比較的安心安全な支援が提供出来ていたと思います。	

重点 目標 3	①	リスク管理を重視する為、事故ヒヤリハット報告提出の推奨・改善策の周知、支援中の職員間の声かけ・連携・協力等一層力を入れて取り組み、安心な環境整備や支援の提供に努める
	通 期	年間を通してヒヤリハットより事故件数の方が多く、内容としては一步間違えれば重大な事故になり得る服薬関係や毎年中々減らない忘れ物が目立ちました。ヒヤリハット報告を出す事で事故防止をする意識が低かったように思います。
	②	あいさつ、身だしなみ、言葉づかい、態度、表情等、相手を思いやる気持ちをベースにした接遇の意識をさらに向上させる
	通 期	意識向上の取り組みとしては行っていませんが、利用者に対しても職員に対してもお互いに思いやる気持ちは皆、普段から持っていたように思います。
	③	ご利用者から信頼を得るための普段からのコミュニケーション、情報や支援方法を共有するための職員間のコミュニケーション、いずれも積極的に図って円滑なコミュニケーションを確立する
通 期	言葉と言葉のコミュニケーションは職員間、利用者共にしっかりと図れていたと思います。ただし重心の方々に対してのコミュニケーションに関しては課題が残ります。	
重点目標4 職員体制の安定と育成		
通 期	年間を通して職員体制は非常に安定していました。育成面では中堅層の育成については課題が残りますが、様々な取り決めが上手く機能していたのではないかと思います。	
重点 目標 4	①	計画的な研修プログラムの実施、チューターによる段階に応じたチェックや助言、個別の課題・目標の確認、気持ちの躓き等に早めに気づき、OJT(現場での研修)や面談による職員のフォローを確実に実施していく。またOJTを機能させる為にも核となる中堅層の育成に力を入れていく
	通 期	チューターによるフォローも対象者がいなくなった事で一旦終了しましたが、面談等を通して一定の成果が出ていると思います。一方で中堅層の育成方法については明確なものが打ち出せず、個々の力量に差が生じてきています。
	②	外国人技能実習生の受入れにあたり、誰もが働きやすい職場環境を整備すると共に指導方法に統一性を持たせていく
	通 期	日本語も徐々に習得してきており、介護技能実習評価試験も見事合格する事が出来たので本人たちの努力は勿論ですが、日々の指導が身を結んだ結果だと思われます。
	③	定例会議や随時の打合せ、業務中の声かけ等通し、信頼をベースにしたチームワークの向上をさらに図る
通 期	特に職員間で業務中の声の掛け合いやフォローは良く行っていたと思います。	
重点目標5 経営の安定や地域からの信頼を意識した事業運営		
通 期	利用率を除けば安定した事業運営というのは達成出来たと思います。地域との関わりについては何かに着手するという事が出来ませんでした。	
重点 目標 5	①	ご家族や地域の関係機関との連携・・・風通しの良いみずきとってもらえるよう、日常の連絡、個別面談、家族懇談会、相談支援や行政等との連携等積極的に行なっていく
	通 期	ご家族との連絡は電話や連絡帳を通して良好に行えています。行政や相談支援も必要時には必ず連絡を取り、コミュニケーションを図っています。

②	空き利用枠の調整、ご利用中の健康管理、職員体制の安定等を整備して、利用率75%（週6営業で、週90名の利用）を達成する
通 期	施設入所の為利用終了した方が立て続けに出た事と新型コロナウイルスの影響の為、後半は利用率がかなり下がってしまい目標の達成には至りませんでした。
③	みずきの将来構想であるグループホームや外での日中活動の場所提供について行政や地域支援会議等と連携し、情報共有に努める
通 期	グループホームの実現はまだまだ先の話となりそうですが、地域支援会議ではⅡ課のご利用者も含めてメンバー構成してイメージを作っており、利用の可能性を探りました。
<b>重症心身障害児（者）通所事業</b>	
<b>重点目標1 安心・安全な支援の提供</b>	
通 期	重心の方々に対してケアワーカーの関りが少なかった事と、非言語コミュニケーションの難しさを改めて確認出来ました。
重 点 目 標 1	① 重度のご利用者に対し支援中の職員間の声かけ・連携・協力等、一層力を入れて取り組むと共に周辺環境の整備を行ない、安全性の高い支援を提供する
通 期	医療ケア等は看護を中心に安全に行う事が出来ましたが、ケアワーカーの積極的な関りが少なかったように思います。
通 期	② ケアプランに則った支援を提供する為にアセスメント、プラン原案作成、ご利用者確認(面談)、プランの実施・記録、中間評価(モニタリング)、半期見直し(面談等)、期末評価といったPDCAサイクルの流れを確実にこなす 今までと違う事をしているわけではない為この事業対象の方も他の方と同様に基本はケアプランに基づいてPDCAサイクルを意識した支援を行っております。
通 期	③ 対象ご利用者の日々の健康状態チェックや十分な見守りの体制を整備しリスク管理を重視していく 大きな事故もなく年間を通して安心安全な支援を提供出来ていたと思います。
通 期	④ 経管栄養や痰の吸引等医療ケアを安全に提供する為に看護師による見守り体制を強化する 継続した見守り体制は確立されており、安心安全な支援が提供出来ています。
通 期	⑤ 身体状況維持の為、理学療法士が関り、安楽に過ごして頂けるように支援する PTには必要性の高い方には積極的に関わってもらっています
<b>重点目標2 ご利用者の身体状況に応じた日中活動を展開する</b>	
通 期	参加できる活動の内容は限られていますが、体調に配慮しつつ参加を促せていたと思います。
重 点 目 標	① それぞれの状況に応じた活動プログラムを作成し、無理のないよう参加を促す

点 目 標 2	通 期	個別の活動プログラムまでは作成出来ませんでしたが、ご利用者それぞれが参加可能な活動に出て、楽しんでいる様子が伺えました。
	② 個別支援計画に基づいた個別支援を計画的に実施する	
	通 期	年間を通して個別支援計画に基づいて支援を提供出来ました。
	③	利用者ニーズに則った複数メニューの検討を進める。また活動メニューの中ではスヌーズレンに力入れ、リラックスして過ごせるように環境を整える
通 期	メニューの拡充という事については進めることが出来ませんでした。スヌーズレングッズは新たに揃えた為、今後活用していきたいと思えます。	
<b>委託型短期入所</b>		
重点目標1 安心・安全な支援体制の整備		
通 期	今年度は短期入所利用者に対する服薬事故が数件発生しています。安心安全という意味では反省が残ります。	
重 点 目 標 1	① ご利用者理解に基づく安心・安全な夜間支援	
	通 期	下半期は忘れ物は減少しましたが、服薬に関する事故は発生しており、服薬のチェック方法に課題が残りました。
	② 事業の意義の再認識	
	通 期	年間を通してほぼ毎月100%を超える利用率でした。この事からもニーズの多さとこの事業の重要性は明白です。
<b>日中一時支援</b>		
重点目標1 安心・安全な支援環境の整備		
通 期	上半期の反省を踏まえ日中一時利用者の利用中の記録を残す事で短時間とはいえ様子が把握しやすくなりました。	
重 点 目 標 1	① 支援体制・環境の整備	
	通 期	記録を残す事でご家族からの問い合わせ等にも応じられるようになり、円滑にコミュニケーションが行えています。
	② 医療的ケアの実施	
	通 期	医療ケアの必要な方のご利用はありませんでした。

【医務科】

通期	I 課、II 課とも大きな医療事故は起きていない。職員のメンタルヘルスチェック後のフォローや健康相談については、必要に応じて産業医と相談・連携しながら行った。
<b>医務科</b>	
<b>重点目標1</b> 医療・看護・健康管理におけるみずきの体制を維持し、入居支援課（I 課）・通所支援課（II 課）看護及び他部署と連携していく	
通期	職員の健康管理は産業看護（主に保健師の分野、持っているスキルによっては看護師もできる）となるため、現状では相談業務を行うことが難しい。現在行っている範囲（受診勧奨や声掛け、産業医との連携）で継続していく。
重点目標1	① みずきが提供する医療ケア・看護レベル等について、みずきの現状、ご利用者ニーズ、制度や社会の動向等見据え、検討を進める
	通期 みずきが提供する医療ケアのレベルや範囲は現状が妥当と考える。看護レベルを維持していくために、今後も正看護師の配置継続を望む。
通期	② I・II 課看護の連携として、お互いに勤務を交換し（3か月を目安）、利用者や業務を理解する。その後、両課の対応ができるような体制作りに取り組む
	体制が整わないため（II 課の常勤看護師欠員）I・II 課看護師の交換勤務は実施していない。
通期	③ 感染症予防について、意識向上、知識習得、具体的な対応方法の周知等、現場に根付く発信をしていく
	下半期後半で新型コロナウイルス対策が必要となり、各種の通達などを参考に対応している。最低限の環境衛生（ドアノブや手すりの消毒を毎日）、自己管理の声掛けなど行っている。マスクや消毒薬の補充が思うようにはできないが、3月末現在、施設内での感染症発生はなかった。
<b>入居支援課看護</b>	
<b>重点目標1</b> 看取りの看護（介護）およびアドバンス・ケア・プランニングに取り組む	
通期	下半期で、利用者と家族の希望により看取り対応をした。指導職には手順や段取りについて細かく指導・助言した。看取りについての講習を退院当日から始めたり、ケア内容の周知ができないなど介護側の準備不足があった。振り返りシートを提案し使用しての振り返りミーティングはしたが、しっかりした検討会が行われず、体制としての課題は残っている。
重点目標1	① アドバンスケアプランについて具体的な内容を検討し、作成したマニュアルに基づいた看護の視点での聞き取りをしていく
	通期 ACP自体が進展していないため、事前指示書の検討だけ行った。
通期	② ケアプラン作成時に連携していく
	看取り対応を始めるに際して、部分的に事前指示書の内容を参考とした聞き取りを行った。
通期	③ 引き続き、ご利用者本人とご家族の意向を確認し、必要な方の医療事前指示書を作成する
	既存の書類（積極的医療、終末期医療についての意思確認書など）の整理と、事前指示書内容の検討を行い、次期ケアプラン説明時から使用する方向で準備した。

④ ユニット会議などで意見交換を行ない、介護職と連携して取り組めるようにする		
通期	ユニット会議への参加要請はなかったが、個別事例について講習するなどした。	
⑤ 看取り看護（介護）が必要になったときは、マニュアルの修正をしながら業務として取り組んでいく		
通期	下期後半で看取り事例に取り組んだ。看護内では医師との相談・連絡や状態把握、看護間の連携など詳細についての確認をこまめに行った。良い条件が重なったこともあるが、看護としてはスムーズにできたという感想である。	
<b>通所支援課看護</b>		
重点目標1 重症心身障害者通所事業の開始に伴い、改めて利用者の情報や記録物の整理を行なって行く		
通期	カーデックスの活用が不十分でした。利用者の継続した情報を見やすくして、必要な支援を検討しスムーズに実施していけるようにしていくことが必要です。	
重点目標1	① 日々のバイタル表を分けて記録していく	
	通期	情報の追加や変更などはその都度行っており、日々の状況が分かりやすくなりました。
	② カーデックスの内容を更新していく	
	通期	現状の継続にとどまり、書式や内容の変更などはできませんでした。
	③ 緊急時IDカードの更新を行なう	
通期	薬の変更等があり、利用者からの要請があった場合は実施しましたが、ほとんどは行えていません。	
重点目標2 喀痰吸引等フォローアップ研修から見えてきた課題の解決に取り組んでいく		
通期	フォローアップ研修の具体的な計画立案はできず実施も中途半端なものでした。	
重点目標2	① 送迎車に乗り状況を把握する	
	通期	フォローアップ研修のために送迎車に乗ることはできていません。
	② それぞれの状況におけるアドバイスを行なう	
	通期	個々の職員への声掛けに効果はみられているようで、送迎車内でもフロアでも積極的に吸引を実施している様子がうかがえています。
	③ それらの事例を職員への周知、意見交換を行いその後の支援に役立てていく	
通期	個別の働きかけは行うようにしていますが職員全体への周知までには至っていません。	

## 【リハビリテーション科】

通期	リハビリテーションマネジメントの手順を進めるために、段階的に実施人数を増やす方法で運用し始めました。他部署を含めたカンファレンスの開催、リハビリテーション実施計画書の作成、利用者への説明と同意などを行い、来年度からのプログラム実施・再評価へと本格運用に向けて動き始めることができました。
重点目標1 多職種での連携を強めるために、リハビリテーション実施計画書を運用する仕組みづくりを行なう	
通期	手順書を作成し、それに則って、カンファレンス・リハビリテーション実施計画書の作成・説明と同意の流れを動かし始めることができました。
重点目標1	① リハビリテーション実施計画書を活用するための手順を検討する
	通期 リハビリテーション実施計画書の保管方法まで含めた手順書を作成しました。
	② リハビリテーション実施計画書の作成
	通期 入居支援課入所者5名について、説明可能な状態のリハビリテーション実施計画書を作成しました。
重点目標1	③ 定期的なカンファレンスの開催
	通期 リハミーティングやリハ勉強会の時間を利用し、他部署も交えたカンファレンスを開催しました。
重点目標2 リハビリテーション実施計画書を基に、リハビリテーションプログラムを展開する	
通期	入居支援課入所者5名について、他部署を交えたカンファレンスを開き、リハビリテーション実施計画書を作成しました。リハビリテーションプログラムの実施については、来期への課題としました。
重点目標2	① リハビリテーション実施計画書に基づくプログラムの実施
	通期 実施計画書のプログラムの実施は、来期への課題としました。
	② 必要に応じた計画の見直し、再実施
通期	実施計画書の見直しと再実施は、来期への課題としました。

## 【栄養科】

通期	課題点であげていたイベント、行事食の提供については各課連携のもと実施を行いました。行事食提供を認知してもらうための、行事カード等の同時提供により、ご利用者から好評をいただくことが出来ました。近年の食材費高騰が顕著に見られるところですが、献立内容の変更や、栄養科内職員全体での使用食材、調味料、物品等や備品の管理を徹底することで、前年度と同程度の食材料費支出で推移することが出来ました。 食事提供及び、食事準備時の衛生マニュアルについては、各課食事委員と連携のもと進めてきたため、基本の衛生水準としては周知出来ている状態です。令和2年度から施行される予定の新食品衛生法に対応した帳票等を用いた管理を実施していきます。
重点目標1 【食事の質向上】	

通期	課題点としてあげている、窓口の明確化について、令和2年度から会議、委員会、係の整理を実施し、指示系統としては明確化できたのではないかと考えます。
重点目標1	① ご利用者個々の栄養状態、健康状態に応じた食事内容（各食事形態及び病中、病後の療養食）の提供を行なう
通期	支援員、専門職と連携のもと、ご利用者の栄養状態、健康状態に応じた食事形態の提供を行いました。また、嚥下状態等で現在提供している食事形態では合っていないご利用者には、STと連携し食事形態の再検討を行いました。その結果、ご利用者に合った食形態に変更できました。2019年度では病中、病後のご利用者に提供する療養食の利用はありませんでしたが、常時オーダーに対応できるよう手配してあります。ご利用者の高齢化が進んできているため、令和2年度においては現状の食形態の見つめなおしを行っていく必要があると考えます。
通期	② ご利用者の意見を反映させた定期的な行事食提供を計画する
通期	ご利用者のご意見を反映させたイベント食、リクエストメニューによる選択食の提供によることで、第三者評価機関を通したご利用者からの意見からも好評を頂いている事を伺えました。今後もご利用者に寄り添った食事提供を基本として献立やイベント等の計画を行っていきたいと考えます。
重点目標2 【栄養ケアマネジメントに基づく食事提供】	
通期	日常的な食生活の喫食率や嗜好品の摂取量に対して、栄養ケア計画の目標をもとにアドバイスを行いました。体調不良や入院等により食事摂取量や食事形態の変化があった場合は随時変更し、併せて栄養補助食品の補充やスムージーの提供により重点的に栄養強化に取り組みました。
重点目標2	① 栄養ケアマネジメントにより適切な食事提供を実施する
通期	日常的な食生活の喫食率や嗜好品の摂取量に対して、栄養ケア計画の目標をもとにアドバイスを行いました。体調不良や入院等により食事摂取量や食事形態の変化があった場合は随時変更し、併せて栄養補助食品の補充やスムージーの提供により重点的に栄養強化に取り組みました。
重点目標3 【衛生概念の周知】	
通期	通所支援課での食事提供、準備時の衛生マニュアル周知については下半期で徹底して頂いている事を確認しています。令和2年度から施行予定の新食品衛生法に対応した帳票等の作成及び周知を役職者中心に行っていました。
重点目標3	① 前年度周知された衛生基準の認知度を再度確認し、安全な食品提供を実施する
通期	通所支援課での食事提供、準備時の衛生マニュアル周知については下半期で徹底して頂いている事を確認しています。令和2年度から施行予定の新食品衛生法に対応した帳票等の作成及び周知を役職者中心に行っていました。
重点目標4 【中長期計画】	
通期	栄養科の人員配置については1名入職しましたが、カフェ要員の配置については2019年度内では行えていません。カフェにおける食器の選定と納品業者の選定等を行いました。カフェ運営方法については引き続きカフェ検討会議で各部署の代表者と計画検討進めていきます。年度末から広がり始めている新型コロナウイルス感染症の影響も考慮した上で営業開始時期等を定めていきたいと考えます。カフェについては2019年度3月には完成しましたが、細かなオーダーと違う修正箇所を含め検討会議で確認し、進めていきたいと考えます。
重	① みずき内での喫茶店の実施を計画し、検討する

点 目 標 4	通 期	<p>栄養科の人員配置については1名入職しましたが、カフェ要員の配置については2019年度内では行えていません。カフェにおける食器具の選定と納品業者の選定等を行いました。カフェ運営方法については引き続きカフェ検討会議で各部署の代表者と計画検討進めていきます。年度末から広がり始めている新型コロナウイルス感染症の影響も考慮した上で営業開始時期等を定めていきたいと考えます。</p> <p>カフェについては2019年度3月には完成しましたが、細かなオーダーと違う修正箇所を含め検討会議で確認し、進めていきたいと考えます。</p>
	通 期	<p>② 外部への弁当提供・マニュアル化を計画する</p> <p>外部への食事提供の進捗として、栄養科本体厨房の拡張工事に向けての話し合い、検討を行いました。設備の配置設計については2019年度内でまとめています。年度末から広がり始めている新型コロナウイルス感染症の影響も考慮した上で、計画通りの工事実施可否についても含めて検討していきたいと考えます。</p>

### 【地域支援科】

通 期	<p>年間通して体制上の混乱もなく、スケジュール通りに支援提供することができました。今後ご利用者へ提供する支援時間や質を高めていくには、サービス管理責任者や他部署との情報共有や連携だけでなく、課内人員の増員も含めて検討し、引き続き体制の安定と充実を図っていきます。</p>	
重点目標1 サービス等利用計画とケアプランの整合性をはかっていく		
通 期	<p>ケアプラン作成後にサービス等利用計画書を作成する流れは変わらずにあり、未だ整合性がはかれている状況にあるとは言えませんが、日々ご利用者の生活状況や支援状況を共有することで、以前に比べ内容理解や状況把握について両計画が擦りあってきている印象があります。</p>	
重 点 目 標 1	① 計画作成、モニタリングのスケジュールを共有し、サービス管理責任者と連携をはかっていく	
	通 期	<p>年度に渡り、スケジュール通り実施することができました。</p>
	② 個別支援計画立案時のアセスメント会議に参加していく	
	通 期	<p>アセスメント会議に参加しています。</p>
③ 個別ニーズに応じ資源や情報の収集を積極的に行い、支援を提案する		
通 期	<p>支援の実施に至っていないものがありますが、支援体制状況や個別事情によるものであり、繋げる支援は継続して行っています。</p>	
重点目標2 ボランティアの数を増やす		
通 期	<p>近隣地域による買い物代行のボランティアなど新たな資源情報も増えていますが、ご利用者ニーズとマッチングすることができませんでした。ボランティアに求める内容の個別性が高く、障害者の方への関わり方に不安があるボランティアさんも多く、さらにマッチングが難しい状況となっています。</p>	
重 点 目 標 2	① ボランティアの獲得方法を検討し、増加に繋げる	
	通 期	<p>新規ボランティアの獲得には至っていません。今年度は毎月定期的に来てくださるボランティアさんの他、以前来設いただいた太鼓や弦楽器等の演奏ボランティアさんに来ていただいています。</p>
重点目標3 地域に開かれた施設を目指し、人の集う場の検討を行っていく		

通期	<p>年間を通じてカフェ検討会議への参加、地域資源の情報収集を行っています。  来期は設備的準備だけでなく、物販品や展示方法などより具体化し、外部事業者との交渉などを進めていきます。</p>
重点目標3	<p>① 他部署と共に、人の集う場作り（喫茶店 活動スペースの開放等）を計画し、具体的検討を行う</p> <p>通期  下半期もカフェ検討会議に参加し、具体的検討を継続して行っています。</p>

### Ⅲ 管理部門

#### 【管理課】

通期	順調な上半期に比べ、下半期は課員の欠員と新事務員が業務に慣れるまでのフォローで、課内業務を回すだけで精一杯な状態でした。その中で報酬改定や身体拘束未実施減算・改修関係の会計面での対応が加わり、ミスなく業務を行うことができたのが唯一の成果でした。来季は課内体制を立て直し、カフェ開業に向けて管理課として貢献できるよう取り組みます。
重点目標1 ご利用者・課内業務についての勉強会を実施する	
通期	ご利用者勉強会は月1回の目標を達成できませんでした。入所利用者だけでなく通所・短期入所と範囲を広げることができました。勉強会で得た情報は、普段のコミュニケーションや散歩同行の際、ご利用者に対する意識や対応に生かすことができました。課内勉強会は、タイムリーに業務に直結するテーマが多く、業務理解に寄与しています。しかし下半期は課員の欠員による業務過多で、勉強会開催が厳しい状況でした。
重点目標1	① 基本情報・個別支援計画を基にした利用者勉強会を月1回
通期	下半期は生活介護Ⅱ1名、短期入所1名のご利用者勉強会を行い、年間5名についての実施となりました。
重点目標1	② 各自検討したテーマでの課内勉強会を年5回
通期	下半期は「2019年度報酬改定における主な改定内容」「図としての表の貼り付け」「請求取り下げについて」「リハ加算について」の内容で行い、年間7回実施しました。
重点目標2 施設の新規事業展開へのサポートをする	
通期	東京都重症心身障害児（者）通所事業と外国人実習生のサポートについては、概ね目標通りの結果を出すことができました。カフェについては会計面がまだ検討段階であり、来期のオープンに向けて具体的な展開をしていきます。
重点目標2	① カフェ事業については、会計面等を受け持ち運営の後押しをする
通期	法人内事業所の物販関係や他施設のカフェ運営について情報収集を行うとともに、会計事務所と連携し会計処理についての検討を行いました。また、建物・設備の保守管理について委託業者を交えて準備をしました。
重点目標2	② 東京都重症心身障害児（者）通所事業開始に向けて、事業理解のための情報収集をし、適正な請求事務を行う
通期	実施部署と連携し、毎月の三市への請求と東京都への報告は、間違いなく適切な処理を実施しました。
重点目標2	③ 外国人技能実習生の来設に向けて制度を理解し、安心して業務に取り組めるような住環境・職場環境を提供する
通期	下半期はWi-Fi環境の設定、年末調整、日本語の勉強等に対応しました。住環境、職場環境の整備について課としてできる限りバックアップを行いましたが、制度の理解までには至りませんでした。
重点目標3 安定的な施設運営のために経費削減の呼び掛けを行う	
通期	物品購入依頼書の精査や在庫確認をその都度行い、各担当者で多重チェックを行うことで、不必要な物品の購入を防ぎ、経費削減に努めました。
重点目標3	① コメント付きで水光熱費の月1回掲示板へUP
通期	月1回のペースで職員掲示板にアップしました。残念ながら細かなコメントを添えることはできませんでしたが、経費削減に繋がるように努力しました。
重点目標3	② 加算や要件等の報酬関連及び過誤防止を視野に入れた情報提供

通 期	下半期は都の指導による身体拘束未実施減算への対応と報告、リハビリテーション加算算定開始に伴う情報収集、特定処遇改善加算支給のための基礎データの作成を主に行いました。年間を通し随時必要に応じた情報提供を実現できたと感じます。
③	部署、会議別の予算表を各責任者に提示し執行管理をしてもらう。さらに、予算の執行状況確認や問合せへの個別対応
通 期	各責任者が受け取った予算表を各自確認を行っていることで、前年度よりも職員のコスト削減意識が向上したせいか、予算の執行状況についての問い合わせが若干であるが増え、各々の予算状況についての問い合わせに対応し、予算についての相談を行いました。

#### IV 会議・委員会

##### 【リスク管理会議】

会議日		検討・実施内容
4月	12日	30年度事業報告、施設来訪者受付、施設内研修、普通救命講習、夜間マニュアル
5月	10日	30年度事業報告、施設来訪者受付、ヒヤリハット報告書式変更、普通救命講習、夜間マニュアル
6月	14日	夜間マニュアル反省、施設来訪者受付、普通救命講習、施設内部研修、ちようふの里防災訓練参加
7月	12日	施設来訪者受付、施設内部研修、ヤフー安否確認のグループ分け
8月	16日	施設内部研修、建物等定期点検、総合訓練、ラグビーワールドカップ開催での危機管理
9月	13日	施設内部研修、夜間マニュアル、ラグビーワールドカップ開催での危機管理再確認
10月	11日	施設内部研修、夜間マニュアルの反省、台風19号上陸時の対応等
11月	15日	施設内部研修、夜間マニュアル（避難なし）、感染意識向上月間
12月	23日	夜間マニュアル（避難なし）の反省、感染意識向上月間の反省、地震想定訓練（机上訓練）等
1月	17日	地震想定訓練（机上訓練）、防災意識向上月間、建物等自主点検、来年度事業計画
2月	14日	地震想定訓練（机上訓練）、防災意識向上月間、建物等自主点検、総合訓練（日中）、来年度事業計画
3月	13日	消防設備等取扱訓練、総合訓練（日中）、内部研修（BCP）、新型コロナウイルスの対応等
総括		
通期	<p>下記にもありますが、事業計画で予定した訓練、取り組みについてはほぼ確実に実施できました。BCPについては部署会議にて普段あまり目にするのではない本文や非常時の対応レベルを目にして確実に意識付けになったと思います。事故・ヒヤリハットを形骸化しない取り組みはなかなか取り組みの成果が表れにくいものです。重大事故も二件発生してしまいましたが、これを教訓に今後も丁寧に取り組むことで大事故防止に取り組みたいと思っています。</p>	
<p>重点目標1 事業継続計画（BCP）が現場に根付くよう取り組みを進めていくと共に、必要に応じ更新を図っていき、緊急時・非常時でも適切な事業運営が図れるよう取り組む</p>		
通期	<p>年間予定した訓練、取り組みについてはほぼ確実に実施できました。また、「BCPについて」として3月の部署会議にて表紙、非常事態対応レベル、非常食の一覧について説明をしました。これがそのままBCPが現場に根付いたとは考えにくいのですが、確実に現場に浸透していく一歩となったと考えています。</p>	
<p>重点目標2 事故・ヒヤリハットを形骸化させず、大事故防止に活かせる取り組みを進める</p>		
通期	<p>各課ヒヤリハットの件数は一桁代を推移した状態でした。事故件数がヒヤリハット件数を上回る月にも発生しています。中には0件だった月もありました。また、重大事故が二件発生してしまいました。今後、丁寧に各課にて「ヒヤリハット事例集」の掲示と会議にて検討するという形で周知を図って行き形骸化させないよう粘り強く取り組みを続けたいと思います。</p>	

##### 【安全委員会】

会議日		検討・実施内容
4月	24日	本年度第1回特定の者研修（4/17・18）認定証等書類の申請状況の確認、フォローアップ研修について
5月	22日	会議は実施せず。本年度第1回不特定の者研修受講申し込み
6月	26日	研修実施状況の確認、本年度第2回不特定の者研修受講候補者について、従事者登録業務引継ぎについて
7月	24日	研修実施状況の確認、本年度第2回特定の者研修日程・テキストについて
8月	28日	研修実施状況の確認、フォローアップ研修の進捗状況確認、上半期の従事者登録について
9月	25日	会議は実施せず。10月の研修受講者等の確認
10月	23日	第2回特定の者研修準備・実施（10/23・24）、上半期のまとめ
11月	27日	研修実施状況の確認、
12月	25日	研修実施状況の確認、従事者登録の完了確認（11月分まで）
1月	22日	研修実施状況の確認、本年度第3回特定の者の研修設定について、
2月	26日	研修実施状況の確認、次年度フォローアップ研修について
3月	25日	本年度のまとめ、次年度第1回特定の者・不特定の者の研修について、
総括		
通期	<p>年度内の研修は概ね予定通りに実施できました。特定行為業務従事者数（認定証申請中含む）は、みずき全体で不特定の者1号が15名、不特定の者2号が10名、特定の者3号が17名となりました。下半期は特定行為業務関連の事故はなく、安全に実施できています。</p>	

重点目標1 介護職員等による喀痰吸引等のフォローアップ研修の内容を検討し、医務科看護等と連携しながら計画的に実施していく

通期	フォローアップ研修は途中で中断し、介護職員全員に実施することができませんでした。
----	--

【人材育成会議】

会議日	検討・実施内容
4月 10日	①内部研修②プロジェクト報告③外部研修④内部研修の参加状況の確認⑤30年度事業報告⑥会議書式⑦ネット配信の活用
5月 8日	①外部研修②みずき内部研修③外国人技能実習生の勉強会④新会議書式⑤ネット配信の運用方法⑥インターンシッププログラム
6月 12日	①内部研修②外部研修③新人合同研修会④働きやすい職場宣言登録⑤新卒採用活動⑥新人職員対象ワークショップ
7月 10日	①内部研修②外部研修調整③新人職員対象ワークショップ④働きやすい職場宣言事業⑤新卒採用の流れ⑥助成金付インターンシップ
8月 14日	①みずき内部研修②外部研修調整③新人合同研修会④働きやすい職場宣言事業⑤新卒採用の流れについて
9月 11日	①内部研修②外部研修③新人合同研修会④新卒採用について（内定式プログラム）
10月 9日	①内部研修②外部研修③新人合同研修会
11月 13日	①内部研修②外部研修③新人フォローアップ研修④新卒採用/人材育成P報告・確認
12月 11日	①内部研修②外部研修③新人フォローアップ研修④ネット配信⑤次年度予算⑥プロジェクト報告
1月 8日	①内部研修②外部研修③新人合同フォローアップ研修④次年度予算
2月 12日	①内部研修②外部研修③新人合同フォローアップ研修④次年度内部研修⑤次年度事業計画（案）⑥採用パンフレット修正
3月 11日	①内部研修②画部研修③新人合同研修会④会議体チーム構成⑤報告事項

総括

通期 年度途中より、職員配置の不足から内部研修が予定を組んで参加者がいなく、実施できず延期することが多くあり、計画的な研修を進めることが出来ませんでした。施設・各課の人員に関わらない方法として、ネット配信を導入しました。年間を通して、浸透して活用されたとは評価できませんが、有効に活用されている職員もいます。新人研修（合同・フォローアップ）も確実にいき、みずきの研修としての強みとして、認識され始めています。

重点目標1 法人のミッションステートメントをもとに、「ヒト」＝「人財」の認識を会議体内で共有し、多角的な視点をもって、みずきの人財を育成できる体制・環境・システムの構築を目指す

通期 新卒採用プロジェクトと情報を共有し、必要時には会議体内メンバーで協力して、新卒採用に取り組み、2名の新卒者を入職できたことは大きな成果だといえます。また、入職してすぐの「新人職員」への手技以外での研修（合同研修会糖）が内容・種類が充実されてきており、「ヒト」に対しての、会議体で意識の共有が促進されました。

【介護技術向上委員会 通所支援課】

会議日	検討・実施内容
4月 8日	新入職員について。利用者事例検討。職員アンケートについて。今年度の研修について。
5月 6日	研修、新職について。利用者事例検討。移乗、指導マニュアル、市単SS利用者の食形態について。
6月 10日	研修について。新職について。利用者事例検討。ベッドの使用について。
7月 8日	新入職について。利用者事例検討。介護技術研修について。
8月 12日	新入職について。利用者事例検討。介護技術研修について。
9月 9日	利用者事例検討。介護技術研修について。
10月 14日	利用者事例検討。介護技術研修について。口腔ケア用品、エプロンの管理について。
11月 11日	利用者事例検討。介護技術研修について。ベッド使用優先度、介護技術研修、口腔ケア用品について。
12月 2日	利用者事例検討。次年度計画について。
1月 13日	利用者事例検討。研修について。次年度会議体について。口腔ケア用品、エプロンの管理について。
2月 10日	利用者事例検討。研修について。次年度会議体について。
3月 9日	利用者事例検討。研修について。

総括

通期	重点目標1については、上半期同様にケア担当者を通じて介助方法の改善を行った。 重点目標2については、研修の全日程を終了した。 また、重点目標とは別にチューターとして新職研修の調整や、介助環境の改善等を行った。
重点目標1 ご利用者にとって、過不足の無い介護を標準化する	
通期	改善後のモニタリングについては、ケア担当者を中心に各ケア会議に委ねる事となった。これは、支援の指針を示す者はケア担当者であり、本委員会が過度に干渉する事で混乱が起きる事を懸念したためである。本委員会には、通所支援課マネージャーが参加しており、各ケア会議にも参加しているため、情報の共有を継続している。
重点目標2 職員各々が、自身の介護技術課題に取り組む手伝いをする	
通期	移乗、口腔ケア、ポジショニング、バイタルサインについての、介助を受ける側を体験できる研修を実施した。研修中の意見質問やアンケートにより、課題抽出を行った。しかし、フィードバックが十分に行えたとは言い難い。これは研修日程の変更により、研修の実施が遅れた事が原因としてあげられる。

### 【権利擁護推進会議】

会議日	検討・実施内容
4月 26日	今年度事業計画確認。アンガーマネジメント研修の設定、キャッチカエル改善。
5月 24日	研修設定の確認。キャッチカエル書式案の検討。
6月 28日	キャッチカエル意見集約と検討。研修設定の確認。
7月 26日	研修内容、役割等の確認。キャッチカエル意見集約と検討。
8月	参加人数不足により中止となる。
9月 27日	研修の振り返り。キャッチカエル意見集約と検討。
10月 22日	アンガーログ研修の検討。キャッチカエル意見集約と検討
11月	参加人数不足により中止となる。
12月 27日	アンガーログ研修の内容確認。キャッチカエル意見集約と検討。
1月 24日	アンガーログ研修の最終確認。
2月	参加人数不足により中止となる。
3月	参加人数不足により中止となる。
総括	
通期	今年度も外部講師を招いての講義と内部研修を実施した。 前期に比べキャッチカエル投函数が後期には減少する。
重点目標1 支援の質を向上させるために、権利擁護の視点からケア(支援)を見直す	
通期	1月に内部研修「アンガーログ研修」を実施。
重点目標2 職員への支援に取り組む	
通期	書式関係はすでに完成しており、令和2年度より新しい書式運用を目指す。

### 【広報会議】

会議日	検討・実施内容
4月 24日	サンライズ32号の内容と発行までのスケジュールの確認。
5月 22日	サンライズ32号の内容の最終確認。次回33号の内容の検討。
6月 26日	サンライズ33号の内容の検討と印刷までのスケジュールの確認。

7月	24日	サンライズ33号の進捗状況の確認。
8月	28日	サンライズ33号の内容の最終確認。次回34号の内容の検討。
9月	25日	サンライズ34号の内容とスケジュールの確認。インスタグラムについて。事業計画中間報告について。
10月	23日	サンライズ34号の内容（みずき祭り）の最終確認。
11月	27日	サンライズ35号の内容（クリスマスコンサート、初詣等）の検討。
12月	25日	サンライズ35号の進捗状況の確認とスケジュールの確認。
1月	22日	サンライズ35号の最終確認。次年度予算の確認。
2月	26日	サンライズ36号の内容の検討とスケジュールの確認。インスタグラムの進捗状況の確認。次年度事業計画の確認。
3月	25日	サンライズ36号の内容の検討と進捗状況の確認。
総括		
通期		発行4回、スケジュール通りに順調に進める事ができた。印刷も2階のパソコンからできるようになり、広報会議のメンバーで出来る様になったことが効率アップに繋がった。今年度は夏号の表紙を今までと異なる雰囲気にする事を取り入れた。毎年同じ様な内容になりがちなので、今度の課題としては、新しい取り組みや内容を記事にして、読み手が楽しめる内容にしていく。
重点目標1 広報誌『サンライズ』でみずきの新しいみずきの取り組みと日々の様子を地域に発信していく		
通期		今年度は新しい取り組みの外国人技能実習生や、増築改修工事についての記事を内容にし、外部や地域の方に多く知ってもらう機会とすることができた。ホームページにも掲載することで、入職を考えている人が見ることもでき、普段の様子を含め施設の取り組みを知ってもらう機会となった。役割分担を行ったことで、効率よくスムーズに作成できるようになった。
重点目標2 インスタグラムでのタイムリーな発信		
通期		週1回を目標に取り組んできたが、投稿が更新できない月もあった。今後は出来るだけ偏りなく、簡単でもいいので数多く投稿し、日々の様子をよりタイムリーに発信していく様にしていく。

### 【活動編成会議】

会議日	検討・実施内容	
4月	19日	今年度の進め方、ご利用者の生活リズムから活動を考える、次回に向けて
5月	17日	I課の活動予定表から足りない活動を考える、日中活動の目的別整理
6月	10日	I課活動の振り分け、活動内容の追加、年間スケジュール
7月	8日	
8月	26日	I課活動のカテゴリー分け・再整理、みずき祭りの目的
9月	中止	
10月	中止	
11月	11日	活動実施体制の検討
12月	中止	
1月	中止	
2月	中止	
3月	9日	次年度体制確認
総括		
通期		昨年度策定した「みずきが提供を目指す活動ビジョン」を具体化すべく、主に入居支援課の活動について考えました。後半は会議の中止もあり、十分検討を深められませんでした。2年間の検討を踏まえ、次年度新たな体制につなげることができました。
重点目標1 通常の日中活動、行事、地域展開等、ご利用者のリアルニーズに基づき、みずきが展開する活動の全体像を提示を目指す		
通期		目標に掲げた内容について検討を進め、みずきが提供する活動の全体像の構築を目指しました。だが焦点を絞り切れずまたI課の活動についての検討が中心になったため、メンバー全体で共有し全体像を構築するには至りませんでした。

### 【イベント会議】

会議日		検討・実施内容
4月	18日	年間スケジュールの決定、入浴イベント（菖蒲湯）について検討、実施（29～30日）
5月	16日	入浴イベント（菖蒲湯）実施（1～4日）、みずき祭りについて検討
6月	20日	みずき祭りについて検討
7月	18日	みずき祭りについて検討
8月	15日	みずき祭りについて検討
9月	19日	みずき祭りについて検討、実施（28日）
10月	17日	みずき祭りの反省
11月	21日	ゆず湯、クリスマスコンサート、餅つきの検討
12月	19日	ゆず湯実施（16日～21日）、クリスマスコンサートの検討・実施（21日）、餅つきの検討、実施（27日）
1月	16日	12月イベントの反省、バレンタインコンサートの検討
2月	20日	バレンタインコンサート実施（22日）
3月	実施せず	一年の総括、反省を行う予定であったが、職員の参加が少なく未実施となった。
総括		
通期		<p>上期はイベント入浴、みずき祭りの行事を行った。みずき祭りに関しては、細かな反省点等ありましたが、予想以上の盛り上がりを見せて、好評であったと思われる。</p> <p>下期のイベントについても開催については、何事もなく概ね成功であったと思われるが、やはり人員不足の関係で準備や進行、片付けなど特定のイベント会議メンバーへの負担が大きくなっていた。</p>
重点目標1 利用者主体のみずき祭りを行なっていく		
通期		<p>利用者に内容、食事に関するアンケートを実施し、意見が一番多かったものを実施する事が出来た。事前準備の事等、多少反省点はあったが、概ね順調で、利用者にも好評であったと思う。</p>
重点目標2 季節を感じる事のできるイベントを企画していく		
通期		<p>一年を通して、しょうぶ湯から始まり、みずき祭り、クリスマスコンサート、ゆず湯、餅つき、バレンタインコンサートと季節を感じる事の出来るイベントが出来ていたと思う。利用者からも良い評価を得られていた。</p>

### 【地域支援会議】

会議日		検討・実施内容
4月	×	実施せず
5月	2日	GH検討の進め方の確認
6月	6日	どのようなGHにしたいか 意見交換
7月	4日	GH建築構想イメージの話しあい 日中活動の実施について
8月	1日	GHを利用される想定のご利用者像から、運営のシュミレーションを行う
9月	5日	今後の検討内容について（対象利用者像の抽出とその方法）
10月	3日	実施せず
11月	7日	実施せず
12月	5日	利用想定される利用者像をシミュレーション ADL情報を整理する書式の検討
1月	16日	作業資料と作業工程の確認 来年度の活動について
2月	6日	利用想定のご利用者像からADL表を作成（5名分）
3月	5日	利用想定のご利用者像からADL表を作成（5名分）次年度、事業検討会議にて継続検討
総括		

通期	当初計画では主に担当職員と日中活動職員での実施を予定していましたが、職員体制が不安定となり、日中活動への配置もままならない状況となり、個別性の高い5つの活動の実施継続が難しい状況となりました。配置が出来たとしても活動につく職員が活動の目的やその実施について十分な理解が図れていない状況があり実施できず、地域支援会議メンバーを主に他部署へ協力を仰ぎ、何とか実施につなげています。 次年度、職員体制に影響されず、継続して活動に関わる支援体制の構築が課題となります。 活動場所については、ユニットだけでなく、カフェの多目的スペースを活用した実施を検討していきます。
重点目標1 入所ご利用者の施設外活動の試行を行う	
通期	職員支援体制が不安定となり、活動の実施継続が難しい状況となりましたが、地域支援会議メンバーを主に他部署の協力を得て実施につなげています。 施設外での活動場所の確保が難しい状況は継続してありますが、カフェの多目的スペースを活用した実施を検討していきます。
重点目標2 グループホーム設立の為の準備を進める	
上半期	月1回の地域支援会議において意見交換を重ね、目指す方法やイメージ化を図っています。
通期	上半期は運営のシミュレーション、下半期はご利用者の生活シミュレーションを形にする為、まずは想定されるご利用者像のADL表を作成しました。
重点目標3 通所ご利用者へ提案できる活動は何か、可能性を探る	
通期	検討事項として、GHの検討作業を優先して行った為、通所ご利用者への具体的検討はしていません。

### 【日中活動委員会 入居支援課】

会議日	検討・実施内容
4月 25日	スケジュール確認/日中活動職員配属確認と業務確認
5月 23日	新メンバーも含めた業務確認と業務割り振り/職員周知方法の検討。
6月 28日	日中活動新しいメニューの検討開始。/周知用の書式アイデア
7月 25日	新しいメニューの検討、意見交換。各自、企画書の書式にてアイデアをまとめ次回提案。
8月 22日	新しいメニュー（映像空間）を検討、仮セッティングを行い、試行できるかを次回以降にて検討。/書式、期間検討。
9月 26日	仮セッティング実施。利用者参加人数が限定されるが、実施自体は可能と考える。
10月 24日	（職員配置が厳しい状況の為）外部講師の活動（音楽療法・美容講習会）時に記入漏れや配置ミスが起きないように方法検討の必要あり。
11月 28日	職員不足にて2名のみで実施。スケジュールと職員理解のツール仮案を確認。
12月 26日	次年度予算案各自検討し予算案を記入の上、提出。（期限付き宿題として）
1月 23日	体調不良者があり活動参加人数が少ない。/全体周知ツールについて、No.2についても確認でき次第提示予定。
2月 27日	職員配置上の問題にて実施なし。（職員不足）
3月 26日	年度末まとめ。（今年度で日中活動委員会は終了。）

#### 総括

通期	職員体制が厳しい中で実施が継続的にできたことは良かった点であったと思う。しかし活動の実施内容や準備などの共有は難しい状況であった。日中活動職員と一緒に教えて共有するには職員配置が不足しており、実際に活動実施を一緒にしていくことが出来なかった。 そんな中で日中活動を他職員にも知ってもらおう機会を作る方法を提案。日中活動の内容や準備を分かりやすくまとめ、ケアステに掲示して周知を目指した。（合計3枚）
----	--

#### 重点目標1 誰でも出来る日中活動を目指す！（土台を固める）

通期	日中活動の実施は、役職を中心とした日勤者での対応が増えた。対応自体は出来ているが、実際に対応するかの共有は困難。準備やレクリエーションのゲーム内容を知らないということもあった。職員体制が厳しい中での実施は共有する時間の確保も困難であった。
----	---

重点目標2 入居支援課（組織）として日中活動を考える！（種をまく）	
通期	職員配置が厳しい環境下では日中活動職員も活動ではなく介助業務に入らなければならない状況であった。日中活動の実施は（役職を中心とした）日勤者で行うことも少なくなかった。課の職員に活動意識してもらうような実施や共有は出来なかったと考える。

【日中活動委員会 通所支援課】

会議日	検討・実施内容
4月 25日	次月のスケジュール確認／日帰り外出／外部研修
5月 23日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン外部研修報告
6月 27日	次月のスケジュール確認／ジャガイモ堀り／陶芸窯購入
7月 25日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン職員向け内部研修
8月 29日	次月のスケジュール確認／今後のお菓子作りの日程
9月 25日	次月のスケジュール確認／スヌーズレンの今後のあり方、方向性
10月 24日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン外部研修報告
11月 28日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン関連本購入
12月 26日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン備品修理
1月 23日	次月のスケジュール確認／スヌーズレン備品修理
2月 27日	次月のスケジュール確認
3月 26日	年度末まとめ。（今年度で日中活動委員会は終了。）

総括	
通期	年間を通して、当初計画していた多くのイベントを職員の協力により概ね実現することができた。利用者や家族から感謝の言葉を頂くことができた。

重点目標1 充実した活動の継続と、安定した活動内容の提供を目指す	
通期	活動系の職員の努力と他の職員及び他部署の職員の協力を得ることができ、重点目標を概ね達成することができた。

重点目標2 活動を通じて新たな発見に繋がるような人材の育成を検討していく	
通期	マニュアル書を事前に作成し活動の内容の周知をすることで、職員の意識改革ができた。日中活動を通じて職員間の協力体制の構築ができ、人材の育成に寄与できたと考える。

【食事委員会】

会議日	入居、通所合同 検討・実施内容
4月 15日	今年度より1課2課合同会議となる。 ・自助具購入。 ・HACCP。
5月 20日	・ドレッシングについて。 ・外出支援同行飲食記録表について。
6月 17日	・自助具購入、注文、支払いの流れ。 ・お茶サーバーの重の確認。 ・長持ちの発見。 ・流して
7月 15日	・2課流してつめ込み実施。 ・ドレッシング返却受け渡しの変更。 ・SS利用者の持参商品の保管
8月	職員勤務都合により未実施。
9月 16日	・エプロン、三角巾の着用。 ・麦茶の返却。 ・検食簿漏れ。 ・衛生面について。
10月 21日	・自助具の購入方法。 ・衛生環境。 ・上半期反省。
11月 18日	・聞き取り。 ・季節のイベント。 ・納豆の提供。 ・外出支援同行飲食記録表について
12月 16日	・一課…予定の物を今年度に購入する。 二課…布巾、コップを購入する。
1月 20日	・次年度予算。 ・ハサップ衛生基準について。 ・食事箋の徹底。
2月 17日	・備品発注。 ・花見イベント。 ・入浴時の麦茶の片付けについて。
3月	

総括

通 期	後半も引き続き、職員体制の不十分さによる、委員会職員の会議出席の調整が難しく、会議未実施の月もありました。初年度に月毎に実施する事項を計画していた為、全体の目標は達成できましたが、その時々課題を提示する場がなかった為、利用者のニーズ・課題の把握をあまりできなかった印象です。 Ⅱ課、Ⅰ課合同の会議については、上半期にある様に有意義であったと思えます。 課内の連携だけでなく、他の課との連携も積極的に行い、目標を達成できた事を評価したいです。
--------	--

**【食事委員会 入居支援課】**

重点目標1 【充実した食事環境づくり】安定した食事摂取	
通 期	上記の活動を実施し、概ね、目標は達成されました。自助具導入については、利用者ご本人からのニーズが少なく、職員の働きかけによる導入が大半だった為、利用者への周知と聞き取りができる体制が必要に思いました。
重点目標2 【充実した食事環境づくり】衛生基準の認知	
通 期	衛生的な食事の準備や対応が定着し、衛生に対する意識が向上しています。1月以降、職員の入職が続いているので、入職時、しっかりとした指導が必要に思います。
重点目標3 【充実した食事環境づくり】ご利用者ニーズの把握	
通 期	多忙な業務の中、課内で連携を取り、実施する事ができました。後半は、人員配置の問題等で役割分担が難しい場面がありました。食べ物の嗜好だけではなく、食事動作や環境整備の面も聞き取りを行うのも、有意義に思いました。

**【食事委員会 通所支援課】**

重点目標1 ご利用者に安心して食事をしてもらえる体制作り・備品補充を行なっていく	
通 期	職員の安全、衛生に関する意識も高まり、食事環境整備や手洗いやエプロン、手袋の装着の徹底が浸透してきた。
重点目標2 月1回程度「聞き取り」を行う	
通 期	聞き取りを行なったが、利用者の意見が引き出しにくかったり、前回と同様の返答だったりした。質問や聞き方を変える工夫も必要だったり、利用者が今以上の食を求めてなかったりと思われた。
重点目標3 食に関するイベントを行う	
通 期	企画していた2月のおでん企画はおでんを提供することで、終わった。これから安全面や衛生面に配慮しながら、可能なイベントを企画していきたい。

2019年度入居支援課事業報告

報告事業所	生活介護 I & 施設入所支援みずき		データ 2019 年度分/特記事項 直近記載																												
人事	採用者	15名	生活支援員11名(常勤10名、間接非常勤1名) 調理員2名(非常勤2名)、事務員1名(常勤)、ST1名(非常勤)																												
	退職者	15名	生活支援員12名(常勤11名、間接非常勤1名) 調理員2名(常勤1名、非常勤1名)、事務員1名(常勤)																												
	異動等	7名	産休育休1名、狛江エリアへ異動2名																												
	職員状況	(4/1現在)																													
労働安全衛生	開催日	・健康診断(7.2月)、インフルエンザ予防接種 ・インフルエンザ4名、労災対象1名、休職(メンタル不調)4名																													
	月間稼働延日数 11712日 利用率 92.6%	2019年度 月稼働日	366日	利用者現員	32名	利用定員	32	未入所	342	外泊数男/女	0	21	入院数男/女	138	371	完全不在日合計	872日														
運営	H29年度:92.8% H30年度:97.8%	【入退所】 入所:S氏(女性)9/17入所 U氏(女性)1/14入所 退所:N氏(女性)5/27病院にて逝去、Y氏(女性)9/5病院にて逝去、U氏(女性)1/29逝去、M氏(女性・ALS)2/23みずきにて逝去(看取り)																													
	サービス評価	第三者委員活動	相談活動:3名の委員、毎月1回 (一柳委員12月~お休み、横山・原田委員3月お休み)															苦情	2件	相談傾聴	41件										
事故ヒヤリハット	重大事故 件数	2件	大区分	怪我等	1	法令違反・不祥事	1																								
	事故ヒヤリハット 件数	99件	中区分	骨折											その他																
				大区分	怪我等	22	服薬関係	13	医療行為	5	対人関係	57																			
					出血	4	誤薬	3	経管関係	3	利用者同士	1																			
					表皮剥離											忘れ	3	点滴関係													
					内出血	1	落下	6	バルン関係	1	情報管理	7																			
					打撲	10	吐き出し											処置関係													
					火傷											セットミス	1	未測定													
					誤嚥	1	その他											その他	1	その他	4										
					異食	1											その他(所在不明含む)										2				
その他	5																														
主な内容		(重大事故) ・9/2:T氏、M氏の居室の金庫確認、不足金判明(計33,000円)。警察・行政・家族報告。利用者から被害届提出し数回警察の訪問あるも原因究明できず。金銭管理についての再発防止策 ・2/29:M氏ホイスト移乗時に落下、尾骨の亀裂骨折、行政・家族報告 (事故ヒヤリ) 報告件数99件(昨年度113件)																													

2019年度短期入所 月事業報告

報告事業所	障害福祉サービス(短期入所)みずき		データ 年度短期月分/特記事項 直近記載																																																
短期入所	月間稼働延日数	732日	2019年度 月稼働日	366日	利用者数	137名	居室数(併設型)	2床																																											
	利用率	103.4%	利用合計日数	757日	居室宿泊日数	570泊																																													
	居室利用率	77.9%	(内訳)																																																
	利用者状況	<table border="1"> <tr><th></th><th>合計</th><th>新規</th><th>生介II</th><th>外部</th></tr> <tr><td>男性</td><td>90</td><td>2</td><td>16</td><td>72</td></tr> <tr><td>女性</td><td>47</td><td>2</td><td>0</td><td>45</td></tr> <tr><td>合計</td><td>137</td><td>4</td><td>16</td><td>117</td></tr> </table>					合計	新規	生介II	外部	男性	90	2	16	72	女性	47	2	0	45	合計	137	4	16	117	(障害区分別)						(人数)																			
	合計	新規	生介II	外部																																															
男性	90	2	16	72																																															
女性	47	2	0	45																																															
合計	137	4	16	117																																															
※利用率					<table border="1"> <tr><th></th><th>区分6</th><th>区分5</th><th>区分4</th><th>区分3</th><th>区分2</th><th>区分1</th><th>児童区分3</th></tr> <tr><td>男性</td><td>51</td><td>14</td><td>20</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> <tr><td>女性</td><td>35</td><td>8</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>86</td><td>22</td><td>24</td><td>4</td><td>0</td><td>0</td><td>1</td></tr> </table>							区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	児童区分3	男性	51	14	20	4	0	0	1	女性	35	8	4	0	0	0	0	合計	86	22	24	4	0	0	1	(障害区分別延べ日数)								
	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	児童区分3																																												
男性	51	14	20	4	0	0	1																																												
女性	35	8	4	0	0	0	0																																												
合計	86	22	24	4	0	0	1																																												
H29年度:95.6% H30年度:99.5%					<table border="1"> <tr><th></th><th>合計</th><th>区分6</th><th>区分5</th><th>区分4</th><th>区分3</th><th>区分2</th><th>区分1</th><th>児童区分3</th></tr> <tr><td>男性</td><td>528</td><td>304</td><td>87</td><td>110</td><td>24</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> <tr><td>女性</td><td>229</td><td>158</td><td>47</td><td>24</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td><td>0</td></tr> <tr><td>合計</td><td>757</td><td>462</td><td>134</td><td>134</td><td>24</td><td>0</td><td>0</td><td>3</td></tr> </table>							合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	児童区分3	男性	528	304	87	110	24	0	0	3	女性	229	158	47	24	0	0	0	0	合計	757	462	134	134	24	0	0	3					
	合計	区分6	区分5	区分4	区分3	区分2	区分1	児童区分3																																											
男性	528	304	87	110	24	0	0	3																																											
女性	229	158	47	24	0	0	0	0																																											
合計	757	462	134	134	24	0	0	3																																											

令和元年度通期事業報告

報告事業所		障害者支援施設みずき 生活介護Ⅱ		データ		年度通期		月分		特記事項		直近記載	
人 事	採用者	3名		看護師1名 外国人技能実習生2名									
	退職者	7名		生活支援員2名(有期) 運転手4名 看護師1名									
	異動等	1名		生活支援員 有期⇒正規 1名									
	職員状況(R2/3/31時点)												
				生活支援	看護	夜勤ア	サブ管	運転					
				常勤	13.0	1.0	0.0	1.0	0.0				
				有期契約	5.8	1.6	1.6	0.0	0.0				
				合計	18.8	2.6	1.6	1.0	0.0				
労働安全衛生	開催日	みずき運営会議時											
運 営	《生活介護》	延利用者数/年	4415名	利用登録者	34名	定員	20名						
	年間稼働延日数	6160日	R1年度 稼働日	308日	一日平均	14.3名	利用率(定員)	71.7%					
		6160日	前年度 稼働日	308日	一日平均	14.8名	利用率(定員)	74.1%					
	《東京都重症心身障害(児)者通所事業》	延利用者数/月	1523名	利用登録者	12名	定員	10名				府中市	921名	
		R元年5月より事業開始	R1年度 稼働日	282日	一日平均	2.83名	利用率(定員)	54.0%			三鷹市	270名	
	年間稼働延日数	2820	累積稼働日	538日	延利用者数	2900名	一日平均	5.4名	利用率	54%	調布市	332名	
	※運営規程変更により、H28.8月から週6日(月~土)営業	(1)三市別利用状況					(2)欠席者数	806名					
		①府中市	1732名	(1日	5.62名)	内訳	入院	受診	体調不良	家族都合	SS	その他	
		②三鷹市	1509名	(1日	4.9名)		118	97	178	54	262	97	
		③調布市	1174名	(1日	4.16名)	(3)利用日外利用	462名						
《日中一時支援》	R1年度 稼働日	366日	利用登録者	名	定員	1名							
	延利用者数	328名	一日平均	0.9名	利用率(定員)	89.6%							
	・市別利用状況				府中	三鷹	調布						
		利用者数	186	45	97								
《委託型短期入所》	R1年度 年稼働日	366日	利用登録者	名	定員	4名							
	延利用者数	1324名	一日平均	3.62名	利用率(定員)	90.4%							
	・市別利用状況				府中	三鷹	調布	狛江					
		利用者数	404	364	381	175							
運 営	①活動状況	<<日中活動>> 利用者懇談会・園芸・創作活動・健康活動(ボーリング、ボッチャ等)・レクリエーション・生け花 ゲーム(射的、ボードゲーム等)・お菓子作り・ボッチャ・地域活動・季節の活動(お花見、夏フェス等) カラオケ・スヌーズレン・ピアノ・陶芸・音楽療法・美容講習会 1日外出5月~6月(オービィー横浜、神代植物園)											
	②利用特記	4月:府中市N氏(♀)週2回(火・木)で新規利用開始。 5月:三鷹市Y氏(♂)胃瘻交換の為入院。 6月:府中市K氏(♀)誤嚥性肺炎で入院。嚥下状態低下の為食形態の変更指示あり。 府中市K氏(♂)他事業所の利用について担当者会議実施。 7月:府中市氏(♀)他事業所通所利用終了の為、みずきでの通所利用増について担当者会議実施。 8月:三鷹市A氏(♂)週1回(月)新規利用開始。 府中市I氏(♀)週3回⇒週4回に利用増。 9月:三鷹市K氏(♀)骨折の為入院。 10月:三鷹市Y氏(♀)新規利用希望あり見学。 11月:調布市H氏(♂)施設入所の為利用終了。 三鷹市K氏(♀)施設入所の為利用終了。 12月:調布市N氏(♀)インフルエンザ罹患 1月:府中市T氏(♂)週1回(火)新規利用開始。 三鷹市Y氏(♀)週3日(火・木・金)新規利用開始。 調布市N氏(♀)施設入所の為利用終了。 2月:府中市K氏(♀)急性肺炎の為入院。 3月:府中市I氏(♀)腸閉塞、誤嚥性肺炎、尿路感染の為入院。 三鷹市Y氏(♀)4月より利用日追加。週3日から週5日(月・火・木・金・土)の利用に変更。 府中市M氏(♀)4月より他施設通所開始の為、週5日から週2日の利用に変更。											
サ-ビス	第三者委員活動	相談活動	6		件								
評 価	苦情相談受付担当	0	件	苦情	0	件	相談傾聴	0					
事 故	重大事故	大区分											
	件数	0	件	中区分									
	事故ヒヤリハット	大区分	怪我等	10	服薬関係	13	医療行為	5	対人関係	55			
	件数	90	件		出血	2	誤薬		経管関係	5	利用者同士	3	
				表皮剥離		忘れ	4	点滴関係		利用者職員	10		
				内出血	2	落下	4	バルン関係		情報管理	2		
			中区分	打撲	5	吐き出し		処置関係		所有物管理	30		
				火傷	1	セットミス	4	未測定		機器操作	3		
				誤嚥		その他	1	その他		その他	7		
				異食						その他(所在不明含む)	7		
			その他										
	総括	上期は忘れ物や私物品の取り扱い等の所有物管理に関わる事故が多発していた。下期は事故件数自体は減少したが、服薬等の一歩間違えれば重大事故となり得る内容のものもあり、より一層の注意が必要となった。またヒヤリハットの件数が事故件数を下回っており、事故を未然に防ぐという意識が課全体として欠けていた事を反省し、ヒヤリハット提出の意味を再確認する必要がある。同じ人が同様の事故を繰り返している状況も見受けられる為、個別の対策も必要である。											

2019年度 入退所状況集計

障害者支援施設みずき（生介Ⅰ・施入支）

※入院外泊日数は完全不在日のみカウント

月 日数	繰越 在籍者 数	入 居	入居内訳				退 居	退居内訳				月 末 在 籍 者 数	在 籍 者 実 人 員	在 籍 者 延 人 員	入 院		外 泊		平 均 入 居 率
			在 宅	医 療 機 関	他 施 設 等	そ の 他		在 宅	死 亡	長 期 療 養	そ の 他				実 人 員	延 人 員	実 人 員	延 人 員	
4 月	30 男	16										16	16	467	1	13	0	0	98.3%
	30 女	16									16	16	477	0	0	1	3		
	30 計	32	0	0	0	0	0	0	0	0	32	32	944	1	13	1	3		
5 月	31 男	16									16	16	491	2	5	0	0	95.7%	
	31 女	16					1		1		15	16	463	5	30	1	3		
	31 計	32	0	0	0	0	1	0	1	0	31	32	949	7	35	1	3		
6 月	30 男	16									16	16	426	3	54	0	0	78.3%	
	30 女	15									15	15	326	6	124	0	0		
	30 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	752	9	178	0	0		
7 月	31 男	16									16	16	496	0	0	0	0	89.6%	
	31 女	15									15	15	393	4	72	0	0		
	31 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	889	4	72	0	0		
8 月	31 男	16									16	16	491	1	5	0	0	91.6%	
	31 女	15									15	15	418	2	46	1	1		
	31 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	909	3	51	1	1		
9 月	30 男	16									16	16	480	0	0	0	0	94.5%	
	30 女	15	1	1			1		1		15	16	448	2	6	1	6		
	30 計	31	1	1	0	0	1	0	1	0	31	32	907	2	6	1	6		
10 月	31 男	16									16	16	496	0	0	0	0	96.7%	
	31 女	15									15	15	463	0	0	1	2		
	31 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	959	0	0	1	2		
11 月	30 男	16									16	16	461	1	19	0	0	94.1%	
	30 女	15									15	15	442	1	8	0	0		
	30 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	903	2	27	0	0		
12 月	31 男	16									16	16	494	1	2	0	0	95.2%	
	31 女	15									15	15	450	1	12	1	3		
	31 計	31	0	0	0	0	0	0	0	0	31	31	944	2	14	1	3		
1 月	31 男	16									16	16	473	2	23	0	0	92.9%	
	31 女	15	1		1		1		1		15	16	464	2	29	1	3		
	31 計	31	1	0	1	0	1	0	1	0	31	32	922	4	52	1	3		
2 月	29 男	16									16	16	454	1	10	0	0	91.7%	
	29 女	15					1		1		14	15	368	3	32	0	0		
	29 計	31	0	0	0	0	1	0	1	0	30	31	851	4	42	0	0		
3 月	31 男	16									16	16	495	1	1	0	0	91.8%	
	31 女	14									14	14	416	2	18	0	0		
	31 計	30	0	0	0	0	0	0	0	0	30	30	911	3	19	0	0		
合 計	男	-	0	0	0	0	0	0	0	0	-	192	5,724	13	132	0	0	92.5%	
	女	-	2	1	1	0	0	4	0	4	-	183	5,128	28	377	7	21		
	計	-	2	1	1	0	0	4	0	4	-	375	10,852	41	509	7	21		

2019年度 通所支援課サービス利用状況

1 生活介護Ⅱ事業

	1日当たり定員				稼働日	延利用者数				1日平均利用者数				利用率				
	府中市	調布市	三鷹市	合計		府中市	調布市	三鷹市	合計	府中市	調布市	三鷹市	平均人数	府中市	調布市	三鷹市	合計	
4月	7	6	7	20	26	男	59	44	85	188	2.3	1.7	3.3	2.4	32.4%	28.2%	46.7%	35.8%
						女	76	66	54	196	2.9	2.5	2.1	2.5	41.8%	42.3%	29.7%	37.9%
						計	135	110	139	384	2.6	2.1	2.7	2.5	74.2%	70.5%	76.4%	73.7%
5月	7	6	7	20	27	男	61	45	59	165	2.3	1.7	2.2	2.0	32.3%	27.8%	31.2%	30.4%
						女	87	61	62	210	3.2	2.3	2.3	2.6	46.0%	37.7%	32.8%	38.8%
						計	148	106	121	375	2.7	2.0	2.2	2.3	78.3%	65.4%	64.0%	69.3%
6月	7	6	7	20	25	男	57	43	78	178	2.3	1.7	3.1	2.4	32.6%	28.7%	44.6%	35.3%
						女	88	60	49	197	3.5	2.4	2.0	2.6	50.3%	40.0%	28.0%	39.4%
						計	145	103	127	375	2.9	2.1	2.5	2.5	82.9%	68.7%	72.6%	74.7%
7月	7	6	7	20	27	男	64	43	81	188	2.4	1.6	3.0	2.3	33.9%	26.5%	42.9%	34.4%
						女	92	60	57	209	3.4	2.2	2.1	2.6	48.7%	37.0%	30.2%	38.6%
						計	156	103	138	397	2.9	1.9	2.6	2.5	82.5%	63.6%	73.0%	73.0%
8月	7	6	7	20	27	男	64	44	86	194	2.4	1.6	3.2	2.4	33.9%	27.2%	45.5%	35.5%
						女	93	65	54	212	3.4	2.4	2.0	2.6	49.2%	40.1%	28.6%	39.3%
						計	157	109	140	406	2.9	2.0	2.6	2.5	83.1%	67.3%	74.1%	74.8%
9月	7	6	7	20	25	男	66	43	74	183	2.6	1.7	3.0	2.4	37.7%	28.7%	42.3%	36.2%
						女	91	62	41	194	3.6	2.5	1.6	2.6	52.0%	41.3%	23.4%	38.9%
						計	157	105	115	377	3.1	2.1	2.3	2.5	89.7%	70.0%	65.7%	75.1%
10月	7	6	7	20	27	男	62	46	79	187	2.3	1.7	2.9	2.3	32.8%	28.4%	41.8%	34.3%
						女	99	63	42	204	3.7	2.3	1.6	2.5	52.4%	38.9%	22.2%	37.8%
						計	161	109	121	391	3.0	2.0	2.2	2.4	85.2%	67.3%	64.0%	72.2%
11月	7	6	7	20	26	男	57	41	65	163	2.2	1.6	2.5	2.1	31.3%	26.3%	35.7%	31.1%
						女	90	64	40	194	3.5	2.5	1.5	2.5	49.5%	41.0%	22.0%	37.5%
						計	147	105	105	357	2.8	2.0	2.0	2.3	80.8%	67.3%	57.7%	68.6%
12月	7	6	7	20	24	男	49	35	79	163	2.0	1.5	3.3	2.3	29.2%	24.3%	47.0%	33.5%
						女	83	55	37	175	3.5	2.3	1.5	2.4	49.4%	38.2%	22.0%	36.5%
						計	132	90	116	338	2.8	1.9	2.4	2.3	78.6%	62.5%	69.0%	70.0%
1月	7	6	7	20	24	男	58	40	82	180	2.4	1.7	3.4	2.5	34.5%	27.8%	48.8%	37.0%
						女	68	42	49	159	2.8	1.8	2.0	2.2	40.5%	29.2%	29.2%	32.9%
						計	126	82	131	339	2.6	1.7	2.7	2.4	75.0%	56.9%	78.0%	70.0%
2月	7	6	7	20	25	男	68	43	79	190	2.7	1.7	3.2	2.5	38.9%	28.7%	45.1%	37.6%
						女	78	35	52	165	3.1	1.4	2.1	2.2	44.6%	23.3%	29.7%	32.5%
						計	146	78	131	355	2.9	1.6	2.6	2.4	83.4%	52.0%	74.9%	70.1%
3月	7	6	7	20	26	男	51	41	70	162	2.0	1.6	2.7	2.1	28.0%	26.3%	38.5%	30.9%
						女	71	33	55	159	2.7	1.3	2.1	2.0	39.0%	21.2%	30.2%	30.1%
						計	122	74	125	321	2.3	1.4	2.4	2.1	67.0%	47.4%	68.7%	61.1%
合計	84	72	84	240	309	男	716	508	917	2141	27.8	19.7	35.7	83.2	33%	27%	43%	34%
						女	1016	666	592	2274	39.4	25.8	23.0	88.2	47%	36%	27%	37%
						計	1732	1174	1509	4415	33.6	22.8	29.3	85.7	80%	63%	70%	71%

2019年度 通所支援課サービス利用状況

2 日中一時支援事業

	1日当たり定員				稼働日	延利用者数				1日平均利用者数				利用率				
	府中市	調布市	三鷹市	合計		府中市	調布市	三鷹市	合計	府中市	調布市	三鷹市	平均人数	府中市	調布市	三鷹市	合計	
4月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	6	5	0	11	0.2	0.2	0.0	0.1	60.6%	50.5%	0.0%	37.0%
						女	12	1	4	17	0.4	0.0	0.1	0.2	121.2%	10.1%	40.4%	57.2%
						計	18	6	4	28	0.3	0.1	0.1	0.2	181.8%	60.6%	40.4%	94.3%
5月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	8	4	0	12	0.3	0.1	0.0	0.1	78.2%	39.1%	0.0%	39.1%
						女	13	2	2	17	0.4	0.1	0.1	0.2	127.1%	19.6%	19.6%	55.4%
						計	21	6	2	29	0.3	0.1	0.0	0.2	205.3%	58.7%	19.6%	94.5%
6月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	6	3	1	10	0.2	0.1	0.0	0.1	60.6%	30.3%	10.1%	33.7%
						女	8	4	3	15	0.3	0.1	0.1	0.2	80.8%	40.4%	30.3%	50.5%
						計	14	7	4	25	0.2	0.1	0.1	0.1	141.4%	70.7%	40.4%	84.2%
7月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	4	10	1	15	0.1	0.3	0.0	0.2	39.1%	97.8%	9.8%	48.9%
						女	10	3	3	16	0.3	0.1	0.1	0.2	97.8%	29.3%	29.3%	52.1%
						計	14	13	4	31	0.2	0.2	0.1	0.2	136.9%	127.1%	39.1%	101.0%
8月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	5	9	1	15	0.2	0.3	0.0	0.2	48.9%	88.0%	9.8%	48.9%
						女	8	1	3	12	0.3	0.0	0.1	0.1	78.2%	9.8%	29.3%	39.1%
						計	13	10	4	27	0.2	0.2	0.1	0.1	127.1%	97.8%	39.1%	88.0%
9月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	5	4	0	9	0.2	0.1	0.0	0.1	50.5%	40.4%	0.0%	30.3%
						女	10	0	4	14	0.3	0.0	0.1	0.2	101.0%	0.0%	40.4%	47.1%
						計	15	4	4	23	0.3	0.1	0.1	0.1	151.5%	40.4%	40.4%	77.4%
10月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	5	7	2	14	0.2	0.2	0.1	0.2	48.9%	68.4%	19.6%	45.6%
						女	10	2	2	14	0.3	0.1	0.1	0.2	97.8%	19.6%	19.6%	45.6%
						計	15	9	4	28	0.2	0.1	0.1	0.2	146.6%	88.0%	39.1%	91.2%
11月	0.3	0.3	0.3	1.0	30	男	4	5	0	9	0.1	0.2	0.0	0.1	40.4%	50.5%	0.0%	30.3%
						女	12	1	4	17	0.4	0.0	0.1	0.2	121.2%	10.1%	40.4%	57.2%
						計	16	6	4	26	0.3	0.1	0.1	0.1	161.6%	60.6%	40.4%	87.5%
12月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	6	7	1	14	0.2	0.2	0.0	0.2	58.7%	68.4%	9.8%	45.6%
						女	10	2	4	16	0.3	0.1	0.1	0.2	97.8%	19.6%	39.1%	52.1%
						計	16	9	5	30	0.3	0.1	0.1	0.2	156.4%	88.0%	48.9%	97.8%
1月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	6	8	2	16	0.2	0.3	0.1	0.2	58.7%	78.2%	19.6%	52.1%
						女	10	1	1	12	0.3	0.0	0.0	0.1	97.8%	9.8%	9.8%	39.1%
						計	16	9	3	28	0.3	0.1	0.0	0.2	156.4%	88.0%	29.3%	91.2%
2月	0.3	0.3	0.3	1.0	29	男	6	7	0	13	0.2	0.2	0.0	0.1	62.7%	73.1%	0.0%	45.3%
						女	12	1	3	16	0.4	0.0	0.1	0.2	125.4%	10.4%	31.3%	55.7%
						計	18	8	3	29	0.3	0.1	0.1	0.2	188.1%	83.6%	31.3%	101.0%
3月	0.3	0.3	0.3	1.0	31	男	4	9	0	13	0.1	0.3	0.0	0.1	39.1%	88.0%	0.0%	42.4%
						女	6	1	4	11	0.2	0.0	0.1	0.1	58.7%	9.8%	39.1%	35.8%
						計	10	10	4	24	0.2	0.2	0.1	0.1	97.8%	97.8%	39.1%	78.2%
合計	4.0	4.0	4.0	11.9	366	男	65	78	8	151	2.1	2.5	0.3	4.9	54%	64%	7%	42%
						女	121	19	37	177	4.0	0.6	1.2	5.8	100%	16%	31%	49%
						計	186	97	45	328	3.1	1.6	0.7	5.4	154%	80%	37%	91%

2019年度 通所支援課サービス利用状況																						
3 市委託型ショートステイ事業																						
	1日当たり定員					稼働日	延利用者数					1日平均利用者数					利用率					
	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計		調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	平均人数	調布市	三鷹市	府中市	狛江市	合計	
4月	1	1	1	1	4	30	男	19	7	25	0	51	0.6	0.2	0.8	0.0	0.4	63.3%	23.3%	83.3%	0.0%	42.5%
							女	16	27	14	0	57	0.5	0.9	0.5	0.0	0.5	53.3%	90.0%	46.7%	0.0%	47.5%
							計	35	34	39	0	108	0.6	0.6	0.7	0.0	0.5	116.7%	113.3%	130.0%	0.0%	90.0%
5月	1	1	1	1	4	31	男	17	8	29	0	54	0.5	0.3	0.9	0.0	0.4	54.8%	25.8%	93.5%	0.0%	43.5%
							女	14	28	7	0	49	0.5	0.9	0.2	0.0	0.4	45.2%	90.3%	22.6%	0.0%	39.5%
							計	31	36	36	0	103	0.5	0.6	0.6	0.0	0.4	100.0%	116.1%	116.1%	0.0%	83.1%
6月	1	1	1	1	4	30	男	19	8	24	0	51	0.6	0.3	0.8	0.0	0.4	63.3%	26.7%	80.0%	0.0%	42.5%
							女	14	23	12	0	49	0.5	0.8	0.4	0.0	0.4	46.7%	76.7%	40.0%	0.0%	40.8%
							計	33	31	36	0	100	0.6	0.5	0.6	0.0	0.4	110.0%	103.3%	120.0%	0.0%	83.3%
7月	1	1	1	1	4	31	男	29	9	24	3	65	0.9	0.3	0.8	0.1	0.5	93.5%	29.0%	77.4%	9.7%	52.4%
							女	5	26	15	0	46	0.2	0.8	0.5	0.0	0.4	16.1%	83.9%	48.4%	0.0%	37.1%
							計	34	35	39	3	111	0.5	0.6	0.6	0.0	0.4	109.7%	112.9%	125.8%	4.8%	89.5%
8月	1	1	1	1	4	31	男	22	7	24	24	77	0.7	0.2	0.8	0.8	0.6	71.0%	22.6%	77.4%	77.4%	62.1%
							女	13	28	9	0	50	0.4	0.9	0.3	0.0	0.4	41.9%	90.3%	29.0%	0.0%	40.3%
							計	35	35	33	24	127	0.6	0.6	0.5	0.4	0.5	112.9%	112.9%	106.5%	38.7%	102.4%
9月	1	1	1	1	4	30	男	24	11	26	0	61	0.8	0.4	0.9	0.0	0.5	80.0%	36.7%	86.7%	0.0%	50.8%
							女	9	15	13	0	37	0.3	0.5	0.4	0.0	0.3	30.0%	50.0%	43.3%	0.0%	30.8%
							計	33	26	39	0	98	0.6	0.4	0.7	0.0	0.4	110.0%	86.7%	130.0%	0.0%	81.7%
10月	1	1	1	1	4	31	男	28	8	27	0	63	0.9	0.3	0.9	0.0	0.5	90.3%	25.8%	87.1%	0.0%	50.8%
							女	6	22	14	0	42	0.2	0.7	0.5	0.0	0.3	19.4%	71.0%	45.2%	0.0%	33.9%
							計	34	30	41	0	105	0.5	0.5	0.7	0.0	0.4	109.7%	96.8%	132.3%	0.0%	84.7%
11月	1	1	1	1	4	30	男	21	10	27	26	84	0.7	0.3	0.9	0.9	0.7	70.0%	33.3%	90.0%	86.7%	70.0%
							女	13	17	13	0	43	0.4	0.6	0.4	0.0	0.4	43.3%	56.7%	43.3%	0.0%	35.8%
							計	34	27	40	26	127	0.6	0.5	0.7	0.4	0.5	113.3%	90.0%	133.3%	86.7%	105.8%
12月	1	1	1	1	4	31	男	22	13	12	31	78	0.7	0.4	0.4	1.0	0.6	71.0%	41.9%	38.7%	100.0%	62.9%
							女	5	18	11	0	34	0.2	0.6	0.4	0.0	0.3	16.1%	58.1%	35.5%	0.0%	27.4%
							計	27	31	23	31	112	0.4	0.5	0.4	0.5	0.5	87.1%	100.0%	74.2%	100.0%	90.3%
1月	1	1	1	1	4	31	男	26	12	26	31	95	0.8	0.4	0.8	1.0	0.8	83.9%	38.7%	83.9%	100.0%	76.6%
							女	6	11	6	0	23	0.2	0.4	0.2	0.0	0.2	19.4%	35.5%	19.4%	0.0%	18.5%
							計	32	23	32	31	118	0.5	0.4	0.5	0.5	0.5	103.2%	74.2%	103.2%	100.0%	95.2%
2月	1	1	1	1	4	29	男	20	7	26	29	82	0.7	0.2	0.9	1.0	0.7	69.0%	24.1%	89.7%	100.0%	70.7%
							女	6	19	10	0	35	0.2	0.7	0.3	0.0	0.3	20.7%	65.5%	34.5%	0.0%	30.2%
							計	26	26	36	29	117	0.4	0.4	0.6	0.5	0.5	89.7%	89.7%	124.1%	100.0%	100.9%
3月	1	1	1	1	4	31	男	20	11	26	31	88	0.6	0.4	0.8	1.0	0.7	64.5%	35.5%	83.9%	100.0%	71.0%
							女	7	19	12	0	38	0.2	0.6	0.4	0.0	0.3	22.6%	61.3%	38.7%	0.0%	30.6%
							計	27	30	38	31	126	0.4	0.5	0.6	0.5	0.5	87.1%	96.8%	122.6%	100.0%	101.6%
合計	12	12	12	12	48	366	男	267	111	296	175	849	8.7	3.6	9.7	5.7	27.8	72.9%	30.3%	81.0%	81.1%	66.3%
							女	114	253	136	0	503	3.7	8.3	4.5	0.0	16.5	31.2%	69.1%	37.2%	0.0%	34.4%
							計	381	364	404	175	1324	6.2	6.0	7.1	2.9	22.2	104.1%	99.4%	118.2%	81.1%	100.7%

2019年度 生活介護Ⅱ活動状況①																																
活動内容	近隣散策・地域活動			陶芸教室			健康活動			創作活動			園芸活動			お菓子作り			感覚刺激			懇談会			アロママッサージ			合計				
	月	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	計			
4月	8	9	13	5	4	6	22	25	27	25	17	26	0	0	0	0	0	0	0	67	43	52	6	3	6	0	0	1	133	101	131	365
5月	0	0	0	4	2	7	39	32	37	8	7	11	0	0	0	12	5	7	62	40	34	1	2	2	0	2	0	126	90	98	314	
6月	1	4	4	5	1	6	29	16	25	23	20	22	0	0	0	0	0	0	75	47	59	1	2	1	2	2	1	136	92	118	346	
7月	2	2	3	5	1	6	20	14	16	29	31	41	0	0	0	9	8	9	65	40	46	0	0	0	3	0	0	133	96	121	350	
8月	2	1	1	5	2	7	29	25	24	25	22	28	0	0	0	0	0	0	71	49	59	2	3	2	1	0	0	135	102	121	358	
9月	2	1	0	4	2	5	24	19	16	11	14	17	0	0	0	7	6	9	76	47	52	3	3	2	3	0	0	130	92	101	323	
10月	15	6	11	4	2	7	36	25	32	13	13	12	0	0	0	0	0	0	69	44	42	0	0	0	0	2	0	137	92	104	333	
11月	3	6	11	6	4	7	49	33	39	8	14	11	0	0	0	0	0	0	66	42	28	4	2	5	2	0	0	138	101	101	340	
12月	3	5	1	4	4	8	33	23	28	26	22	29	0	0	0	5	2	9	53	35	30	1	0	4	0	0	1	125	91	110	326	
1月	1	2	3	5	2	8	49	26	48	11	11	12	0	0	0	0	0	44	31	43	1	2	4	0	0	0	0	111	74	118	303	
2月	6	3	9	7	4	7	45	23	43	10	9	11	0	0	0	7	4	4	52	28	43	3	2	4	0	0	0	130	73	121	324	
3月	2	4	2	0	0	0	65	37	58	3	3	6	0	0	0	2	4	5	42	25	43	0	0	0	0	0	0	114	73	114	301	
	45	43	58	54	28	74	440	298	393	192	183	226	0	0	0	42	29	43	742	471	531	22	19	30	11	6	3	1548	1077	1358	3983	

2019年度 生活介護Ⅱ行事活動状況②

活動内容	防災訓練			音楽療法			みずき祭り			日帰りの外出			美容講習			ピアカン			合計			①+②合計								
	月	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	府	調	三	計	
4月	0	0	0	0	1	1	0	0	0	0	0	1	1	0	1	1	1	2	3	2	7	135	104	133	372	139	100	109	348	
5月	0	0	0	4	1	0	0	0	7	7	10	2	1	0	0	1	1	13	10	11	34	142	95	120	357	149	103	133	385	
6月	0	0	0	3	1	2	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	0	6	3	2	11	148	107	128	383	145	101	110	356	
7月	0	0	0	0	0	0	15	6	12	0	0	0	1	0	0	1	1	16	7	12	35	148	107	128	383	145	96	108	349	
8月	0	0	0	10	3	6	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	15	9	9	33	145	101	110	356	139	102	103	344	
9月	0	0	0	6	2	3	0	0	5	5	0	0	3	1	0	0	1	8	4	4	16	145	96	108	349	131	94	113	338	
10月	0	0	0	1	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	2	4	139	102	103	344	121	81	128	330	
11月	0	0	0	3	2	3	0	0	0	0	0	3	1	0	0	1	1	6	3	3	12	139	76	127	342	114	73	114	301	
12月	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6	4	7	1	1	0	1	1	10	7	10	27	139	76	127	342	114	73	114	301	
1月	0	0	0	3	1	2	0	0	0	6	4	7	1	1	0	1	1	9	3	6	18	139	76	127	342	114	73	114	301	
2月	0	0	0	6	1	3	0	0	0	0	0	3	1	2	0	1	1	9	3	6	18	139	76	127	342	114	73	114	301	
3月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	0	0	0	41	15	25	21	11	17	13	11	17	23	10	2	1	8	7	99	55	68	222	1647	1132	1426	4205	1647	1132	1426	4205

2019年度 実習・研修等実施状況

	期間／日にち	内容	実施先	人数
実習	5/13～26	東洋大学（介護実習）	入居支援課	1
	6/1～7	東洋大学（介護実習）上記と同一学生	入居支援課	1
	6/8～6/19	大原医療秘書福祉保育専門学校（保育実習）	入居支援課	2
	6/24～7/5	大原医療秘書福祉保育専門学校（保育実習）	入居支援課	2
	8/6～23	文教学院大学（介護実習）	入居支援課	2
	2/1～10	世田谷福祉専門学校（介護実習）	入居支援課	1
	2/11～23	駒沢女子短期大学（保育実習）	入居支援課	2
	2/24～3/6	聖ヶ丘教育福祉専門学校（保育実習）	入居支援課	2
	3/9～22	日本児童教育専門学校（保育実習）	入居支援課	2
	8/19～23	東京女子体育短期大学	通所支援課	1
	9/9～13	駒沢大学	通所支援課	1
	9/9～13	武蔵大学	通所支援課	1
	9/30～10/4	慈恵医科大学	通所支援課	2
	10/14～18	駒沢大学	通所支援課	2
	期間／日にち	内容	主催	参加者／対象者
	4月20日	自分でできるためのスイッチ	多摩療護園	前田 八木
	4月28日	作業療法士のための高次脳機能障害における脳機能の基礎知識	株式会社gene	前田
	5月12日	第31回スヌーズレンセミナー	日本スヌーズレン協会	佐藤(亨)
	5月14日15日	東社協キャリアパス対応型「初任者研修」（既卒）	東京都福祉人材センター	加藤未
	5月26日	第8回スヌーズレン研修会	ISNA日本スヌーズレン総合研究所	前田
	5月30日	東障協 看護職研修	東京都身体障害者施設協議会	伊藤 堀
	5月31日	福祉職員定着・育成セミナー「職場研修推進から人材育成を考える」	東京都福祉人材センター	井川
	6月5日6日	東社協キャリアパス対応型「初任者研修」（既卒）	東京都福祉人材センター	保坂
	6月12日13日	関プロ支援力アップ勉強会	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会	金
	6月13日14日	福祉事業所のための研修体系確立・推進研修	東京都福祉人材センター	武井
	6月19日20日	東社協キャリアパス対応型「初任者研修」（新卒）	東京都福祉人材センター	大森
	6～9月	東京都介護職員等によるたんの吸引等の実施のための研修	東京都	水島 近藤
	7/1～3	障害者施設職員研修会(新任職員コース)	全国障害者総合福祉センター	猪股 高澤
	7月3日4日	東社協キャリアパス対応型「初任者研修」（新卒）	東京都福祉人材センター	小山(萌)
	7月14日	バランス障害の評価と治療	Rehatech Links株式会社	八木
	7月21日	国際協力セミナー～外国人介護職員・留学生の話の聞き、交流しよう～	東京都介護福祉士会	今村
	7月24日	看護師基礎講座（第2回）		大森
	7月26日	介護職員研修会	東京都身体障害者施設協議会	水沢
	8月1日	社会福祉法人会計「入門講座」	総合福祉研究会	横倉
	8月1日	「障害とは何か？」～「障害平等研修」通して、改めて考える～	東社協身障部会	小野 進藤
	8月1日2日	リフトリーダー研修	JASPA介護リフト普及協会	青木
	8月23日	摂食指導研修会	府中けやきの森学園	今村
	9月2日	第1回リハビリテーション専門職連絡会	東京都	八木

10月3日4日	第40回関東・甲信越地区身体障害者施設職員研修大会	関東・甲信越地区身体障害者施設協議会	12名
10月6日	アセスメントに基づいた排痰法の実際	株式会社gene	八木
10月7日	学習会（泉の家見学・意見交換）	東社協身障部会従事者会	木村(千) 鈴木(楓)
10月20日	発達障害・知的障害のある子の「感覚」への対応	発達協会	前田
10月20日	看護師・コメディカルのためのFIM講習会 基礎編	東京多摩リハビリネット	八木
10月26日27日	第20回認知神経リハビリテーション学会学術集会	認知神経リハビリテーション学会	前田
10月28日29日	チームリーダー研修	東京都福祉人材センター	木村(千)
10月30日	看護師基礎講座「呼吸障害とケア」		大森
10月31日	重症心身障害児・者の摂食嚥下と高齢化～機能低下とどう向き合うか～	多摩総合医療センター	松木
11月1日	リハビリテーション職 施設交流会	東京都身体障害者施設協議会	前田 八木
12月9日	第2回リハビリテーション専門職連絡会	東京都	八木
12月14日	第2回合同学習会「医療的ケアの実践と課題」	東社協知発部会、都通研	久保
1月23日	チームリーダー重点テーマ強化研修	東京都福祉人材センター	今村
1月29日	個別支援計画づくりを再考する、相談支援とリンクして	都通研	瀬川
2月17日	障害者支援施設ICT機器導入支援モデル事業事業者向け説明会	東京都	前田
期間/日にち	内容	実施主体	参加者/対象者
4月3日	事業計画説明会		
4/2. 10/1	新人合同研修会		
7/8. 2/6	新人フォローアップ研修会		
5/29. 30			
6/3. 4. 24. 26 . 27. 28	権利擁護・虐待防止研修	多摩ブロック会議	全員
7/9. 11. 15. 1 6. 23. 30 8/15 9/3	防犯研修	リスク管理会議	55名
8/28. 29. 30	サービス等利用計画	地域支援科	16名
	スーパービジョン		
11/26 12/2. 9	感染症について	医務科	15名
	アンガーマネジメントフォローアップ研修	権利擁護推進会議	
	ケアプラン・記録の書き方	サービス管理責任者	
	障害・疾病の理解	リハビリ科	

みずき  
内部  
研修

2019年度 入居者受診状況																											
(令和元年度)																											
		4		5		6		7		8		9		10		11		12		1		2		3			
		実数	延人数																								
所内診療	診察	12	24	17	43	14	22	14	31	16	36	10	23	16	40	13	21	9	21	16	37	12	26	9	18		
	注射	1	2	1	3	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2		
	検査			17	17			1	1					2	2			1	1					2	2		
	投薬	32	68	32	70	28	66	29	62	30	77	30	60	30	68	31	78	31	96	31	57	30	57	30	58		
	処置	38	260	42	259	32	203	32	225	32	210	36	230	38	236	36	210	36	204	34	193	29	173	31	196		
	気管カニューレ交換	3	6	3	8	3	5	3	6	2	6	3	6	3	9	3	5	3	6	3	6	3	6	3	6	3	5
	パルシカテール交換	7	16	7	15	4	8	5	14	6	12	5	10	5	13	5	11	5	8	5	8	5	8	5	8	5	12
	膀胱洗浄	2	11	1	4	2	5	1	4	1	4	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3	1	3
	褥瘡処置	1	30	1	31	2	36	1	31	1	31	1	30	1	31	1	30	1	31	1	31	1	29	1	31	1	31
	創傷処置					1	8																				
	GE	19	178	19	171	17	137	18	162	15	138	19	153	19	156	20	144	20	146	20	139	16	121	18	138		
	摘便	4	6	8	14	3	4	2	4	4	6	4	12	5	12	4	9	4	4	2	2	2	2	2	2	2	2
	座薬挿入	2	13	3	16			2	4	3	13	3	16	4	12	2	8	2	6	2	4	1	4	1	5		
	人工呼吸器管理					0	0	0	0	0	0																
酸素吸入 (在宅酸素)																											
所内診療合計		95	387	120	419	84	311	86	345	88	378	87	364	97	404	91	360	88	372	92	337	82	304	83	327		
外部通院	歯科	27	103	27	104	23	84	25	115	24	92	27	105	25	108	26	98	25	96	25	104	25	105	25	112		
	多摩総合医療センター	1	1	1	1	1	1	1	1	2	4	2	3	2	2	3	3	1	1	4	4	2	2	1	1	1	
	慈恵第三病院	2	4	2	3	2	2	4	7	1	1	1	1	3	4	1	2	1	2	1	1	1	1	2	3	3	
	杏林大学病院							1	1									1	1								
	調布病院	1	1	4	5	3	3	2	2	1	1	4	4	1	2	2	2	1	1	4	4				4	4	
	調布東山病院	1	1	4	7			1	2	3	4					2	2	1	1			2	2				
	三鷹中央病院																										
	ブース記念病院																										
	中島整形外科																										
	くまざわ整形外科	1	1																						1	2	
	西調布眼科														2	3											
	調布ヶ丘耳鼻科	1	2															1	1			1	1				
	朝日町クリニック																										
	国年眼科	1	1							1	1							1	1								
	高坂皮膚科			3	3	3	3	1	3	2	2	2	3	1	1	1	1	1	2	3	4	2	2				
	小島町歯科医院					1	1																				
	精神神経医療研究センター					1	1							1	1							1	1				
	東京医科歯科大学病院																										
	東京西徳洲会病院					1	1																				
	通院小計	8	11	14	19	12	12	10	16	10	13	9	11	10	13	9	10	8	10	12	13	9	9	8	10	10	
	都立神経病院	1	13			1	8										1	8				2	12				
	杏林大学病院																										
	慈恵第三病院			1	1	1	23	2	11	1	28													1	7	7	
	多摩総合医療センター																							1	11	11	
調布東山病院			3	10	2	54	1	31	1	15	1	3															
東京西徳洲会病院					1	7																					
調布病院			4	25	4	86	2	30	1	3	1	3			1	19					2	28					
入院小計	1	13	8	36	9	178	5	72	3	46	2	6	0	0	2	27	0	0	0	0	4	40	2	18	18		
外部受診合計	36	127	49	159	44		40	203	37	151	38	122	35	121	37	135	33	106	37	117	38	154	35	140	140		
通院受診科別内訳	内科	1	1	5	5	5	5			1	2					1	1	1	1	2	3	1	1	1	1		
	神経内科	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	1	1	2	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2		
	外科			3	5			3	3				4	4	1	2	1	1	2	2	1	1			4	4	
	整形外科	1	1																						1	2	
	消化器科							1	2	2	2									1	1						
	皮膚科	1	1	4	5	3	3	2	4	3	3	3	4	2	2	4	5	2	3	3	4	4	4	1	1	1	
	歯科					1	1																				
	眼科	1	1							1	1			2	3			1	1								
	耳鼻科	1	2					1	2									1	1				1	1			
	泌尿器科	2	4	2	3	1	1	2	3	1	1			2	2			1	1	1	1	1	1	1	1	1	
	麻酔科																										
	婦人科																										
	リハビリ科																										
	精神科								1	3	1	2	1	1	1	1	1			1	1			1	1		
脳外科							1	1					1	1													
形成外科																											
内訳小計	8	11	15	19	12	12	11	16	10	13	9	11	11	13	9	10	9	10	11	13	9	9	9	9	10		

2019年度 通所支援課利用者 医療状況(通期)

1 事業所内の医療実施状況

投薬 処置	生活介護事業												委託型短期入所事業												全体			
	三鷹市			府中市			調布市			小計			三鷹市			府中市			調布市			小計			小計			
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計	
内服薬(経口)	29	74	103	98	500	598	31	0	31	158	574	732	111	252	363	304	146	450	264	383	647	885	781	1666	1043	1355	2398	
内服薬(経管より注入)	294	0	294	88	143	231	0	217	382	360	742	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382	360	742
処置	1472	81	1553	420	1558	2078	109	1226	2335	2865	4866	112	88	200	80	215	28	206	283	491	779	1062	196	729	2534	3061	5595	
気管内吸引(カニューレあり)	0	0	0	126	0	126	0	0	126	0	126	126	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126	0	126
気管内吸引(カニューレなし)	81	0	81	0	175	175	0	217	81	392	473	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81	392	473
口腔・鼻腔内吸引	294	0	294	0	741	741	0	336	294	1077	1371	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	294	1077	1371
吸入	0	0	0	0	102	102	0	124	0	226	226	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	226	226
胃腸管栄養・補水	294	0	294	0	408	408	0	217	294	625	919	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	294	625	919
経鼻管栄養・補水	0	0	0	88	7	95	0	0	88	7	95	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	88	7	95
経腸栄養(腸導)持続ポンプ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経口胃管挿入・経管栄養	0	0	0	0	0	0	0	103	0	103	103	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	103	103
腎力テナーテル留置・包交	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
膀胱皮膚瘻・入浴時処置	195	0	195	0	0	0	0	0	195	0	195	195	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	195	0	195
導尿	0	0	0	10	0	10	0	0	10	0	10	10	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	10	0	10
自己導尿介助	0	0	0	98	0	98	0	0	98	0	98	98	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	98	0	98
褥瘡処置	0	39	39	0	0	0	0	0	0	39	39	39	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	39	39
点眼・点鼻・点耳	81	0	81	0	0	0	9	217	90	217	307	55	76	0	45	74	0	206	0	335	121	456	425	338	763	425	338	763
外用薬処置(軟膏塗布など)	527	0	527	98	125	223	100	0	725	125	850	57	0	35	129	0	0	0	186	35	221	911	160	1071	911	160	1071	
浣腸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	28	0	12	28	0	12	40	52	12	40	52	12	40	52	
坐薬挿入	0	0	0	0	0	0	0	12	0	12	12	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12	12
弾性包帯巻	0	42	42	0	0	0	0	0	0	42	42	42	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	42	42
計	1795	155	1950	606	2201	2807	140	1443	2541	3799	6340	223	340	304	226	479	411	412	1418	977	2395	3959	4776	8735	3959	4776	8735	

( \* 表中の数値は特定の行為を要する利用者の利用日数を合算したものとします。 )

2 通所支援課利用者の医療状況の傾向

- 利用者医療状況の昨年からの変化は (1) 肺炎での入院が3名、1名は一時的に経鼻管栄養となり、吸引回数も頻回。時期を見て胃ろう造設予定。  
 (2) 新規で導尿・褥瘡処置のある利用者が1月から利用開始。

2019年度 みずき食事提供数集計表													
	入居支援 課(朝)	入居支援 課(昼)	入居支援 課(夕)	入居支援 課(短期 朝)	入居支援 課(短期 昼)	入居支援 課(短期 夕)	通所支援 課	通所支援 課(短期 朝)	通所支援 課(短期 夕)	日中一時	検食(3食)	職員食	合計
4月	731	720	726	49	44	48	276	79	81	17	3	297	3071
5月	730	723	725	44	40	44	268	81	79	13	3	277	3027
6月	596	585	591	60	47	60	269	76	75	12	3	290	2664
7月	681	671	677	40	35	39	292	83	85	22	3	310	2938
8月	689	679	677	53	44	53	286	101	84	22	3	290	2981
9月	666	657	658	52	37	50	280	102	101	12	3	283	2901
10月	710	695	700	40	35	41	278	79	78	12	3	286	2957
11月	669	655	657	37	30	38	257	95	85	15	3	285	2826
12月	692	678	682	49	40	48	236	101	93	19	3	220	2861
1月	688	683	688	39	34	39	244	95	81	18	3	162	2774
2月	667	666	667	34	33	35	236	91	88	13	3	231	2764
3月	701	697	702	46	40	46	224	99	97	20	3	245	2920
年度計	8220	8109	8150	543	459	541	3146	1082	1027	195	36	3176	34684
食費	2,055,000	5,270,850	4,482,500	135,750	298,350	297,550	2,044,900	270,500	564,850	126,750	0	952,800	16,499,800

## 諸会議実施報告

### 2019年度 「みずき運営会議」 実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月5日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤H30年度事業報告 ⑥第三者評価改善報告 ⑦有期契約職員待遇 ⑧事業計画説明会振り返り ⑨施設来客受付 ⑩トロミ剤使用 ⑪福利厚生（靴のインソール・施術） ⑫ゴールデンウィーク（10日休日）について ⑬権利擁護委員会 ⑭労働安全衛生委員会
2	5月3日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤テーマ別研究「女性が活躍できる環境づくり」より ⑥リレーエッセイの今後 ⑦福利厚生について ⑧活動編成会議・介護技術向上委員会開催日程 ⑨普通救命講習 ⑩医療情報提供書の変更 ⑪権利擁護委員会 ⑫労働安全衛生委員会
3	6月7日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤H30年度事業報告・決算 ⑥新卒採用プロジェクト今後の予定 ⑦女性の働きやすい職場環境づくり ⑧喫茶室等増築改修工事 ⑨多摩ブロック職員行動規範の浸透のために ⑩ワイズマンASP化 ⑪みずき内メールアドレスの設定と管理 ⑫権利擁護委員会 ⑬労働安全衛生委員会
4	7月5日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤多摩ブロック行動規範の浸透のために ⑥第三者評価受審 ⑦アンガーマネジメント講習会 ⑧権利擁護委員会 ⑨労働安全衛生委員会
5	8月9日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤みずき改修増築等工事 ⑥みずき祭り ⑦ラグビーワールドカップ2019日本大会 ⑧権利擁護委員会 ⑨労働安全衛生委員会
6	9月6日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤重大事故（I課入居者の金銭不明） ⑥第三者評価改善計画（ちょこっと相談要望ファイル導入） ⑦全体職員会議（10/11） ⑧車両管理・職員休憩室関連 ⑨新卒採用 ⑩権利擁護委員会 ⑪労働安全衛生委員会
7	10月7日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤テレビ会議システム導入 ⑥増築改修工事 ⑦金銭管理（I課） ⑧非常電源について ⑨権利擁護委員会 ⑩労働安全衛生委員会
8	11月8日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤増築改修工事 ⑥冬季インターンシップ ⑦権利擁護委員会 ⑧労働安全衛生委員会
9	12月6日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤次年度事業計画策定（重点目標・予算・会議） ⑥第三者評価訪問調査 ⑦法人中長期計画（ビジョン2023）プロジェクト参加者 ⑧イベント入浴・クリスマスコンサート・餅つき・太鼓演奏 ⑨権利擁護委員会 ⑩労働安全衛生委員会
10	1月10日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤次年度に向けて（重点目標・書式・会議） ⑥増築改修工事 ⑦権利擁護委員会 ⑧労働安全衛生委員会
11	2月7日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤次年度事業計画 ⑥I課虐待通報 ⑦バレンタインコンサート ⑧権利擁護委員会 ⑨労働安全衛生委員会
12	3月6日	①部署、会議体、委員会報告 ②施設長報告 ③事故報告と検討 ④会計報告 ⑤次年度事業計画・予算案 ⑥事業計画説明会 ⑦権利擁護委員会 ⑧労働安全衛生委員会

2019年度「みずき経営会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月17日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③Ⅱ課東京都重症心身障害児(者)通所事業 ④外国人技能実習生 ⑤改修について ⑥送迎業務委託(入札に向けて) ⑦短期入所第三者評価改善事項 ⑧テーマ別研究:女性が活躍できる職場環境づくりより ⑨福利厚生(体のケア) ⑩リレーエッセイ今後 ⑪全身協永年勤続表彰
2	5月15日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③事業報告・決算報告 ④人事考課を受けて ⑤ワイズマンASP ⑥外国人技能実習生 ⑦Ⅱ課東京都重症心身障害児(者)通所事業 ⑧改修・増築について ⑨送迎業務委託関連 ⑩テーマ別研究:女性が活躍できる職場環境づくりより ⑪福利厚生(体のケア) ⑫Ⅰ課夜間緊急対応
3	6月19日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③ワイズマンASP・PC入替・メアド管理 ④送迎委託、委託後の業務・役割 ⑤有給取得推進強化(月間) ⑥第三者評価受審 ⑦改修・増築について
4	7月17日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③改修・増築について ④今後の組織づくり ⑤取り組み進捗状況(テーマ別研究・身体的ケア福利厚生・有給取得推進・行動規範行動例・外国人技能実習生) ⑥人事考課2019上期考課者 ⑦関プロ研修大会
5	8月21日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③改修・増築について ④今後の組織づくり ⑤第三者評価改善計画 ⑥職員全体会の開催日程 ⑦送迎業務委託・運転業務・車両の管理・職員休憩準備等
6	9月18日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③改修・増築について ④次年度に向けて(上半期報告・Ⅰ課女性の役職複数配置・地域支援科栄養科の課への昇格) ⑤金銭管理について ⑥職員全体説明会 ⑦ちよこっと相談・要望ファイル
7	10月16日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③改修・増築について ④次年度に向けて(上半期報告・課題抽出・Ⅰ課女性の役職複数配置・地域支援科栄養科の課への昇格) ⑤金銭紛失重大事故 ⑥府中市予備監査指摘事項・助言 ⑦職員全体説明会(欠席者フォロー、アンケート) ⑧第三者評価経営層合議
8	11月20日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③増築改修工事 ④次年度に向けて(上半期報告・中期ビジョン・補正予算・組織・重点目標・会議・予算) ⑤冬季賞与 ⑥年末年始勤務
9	12月18日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③増築改修工事 ④次年度に向けて(組織・重点目標・会議・予算) ⑤職員定着・離職防止のために ⑥身体拘束廃止未実施減算
10	1月15日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③増築改修工事 ④次年度に向けて(組織・重点目標・会議・予算・事業計画説明会) ⑤職員定着・離職防止のために ⑥インフルエンザ等出勤停止の際の証明書類
11	2月19日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③第三者評価結果確認 ④次年度に向けて(組織・会議・予算・事業計画説明会) ⑤職員定着・離職防止のために ⑥新型コロナウイルス
12	3月18日	①部署、会議体、委員会等報告 ②人事・組織関係 ③新型コロナウイルス対策 ④次年度に向けて(組織・会議・年間予定・事業計画・予算・事業計画説明会) ⑤職員定着・離職防止のために ⑥非常勤職員給与設定 ⑦調布市虐待通報 ⑧特定処遇改善加算 ⑨増築改修工事関連

2019年度「入居支援課会議」実施報告書

I 課運営会議

	日付	主たる議題
1	4/11(木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①課内係り業務内容について ②年間スケジュール表について(内容・作成者等) ③トロミ剤の管理について(早ければ5月より個別の管理になる見込み) ④非常勤職員の業務評価(時給検討)
2	5/9(木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①ユニット予算、チャレンジ費用の用途について ②S氏食事介助に関する要望について(食事対応者) ③年間スケジュール表について(確認) ④6月以降のT職員の業務について ⑤経管栄養フォローアップ研修について(安全委員会より) ⑥耳鼻科受診について ⑦トロミ剤の管理について

3	6/13 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①課内イベント夏祭りについて ②課内チャレンジ企画(インターシップ最終日の花火) ③T氏コール基準(感度OFFを可とする状況) ④業務分担当のピンクマークの是非について ⑤31年度リフレッシュ休暇の取得方法について ⑥N氏の対応に関する反省
4	7/11 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況、NC工事日程 <検討>①課内イベント(夏祭り)について、イベント係より追加提案 ②ケア担当について(案) ③役割の振り返り(課題抽出、振り分け・検討)
5	8/8 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①入院中のY氏について ②新規入居候補者(第1位:大田区の方)について ③課内イベント(グループ散策)について ④役割についての課題解決 ⑤新規受け入れ、Y氏(要巡視)・Y氏(経管)の受け入れを想定。
6	9/12 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①10月課内イベント(ハロウィン)について ②新規入居者の受け入れについて(施設長) ③個別活動の提供に関して ④金銭事故の再発防止 ⑤上期考課者ペアについて ⑥休職中の担当についての確認 ⑦新規利用者(Y氏の欠員分)のケア担当について ⑧接遇マナー研修実施を受けて ⑨役割者役割の理解
7	10/12 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>
8	11/14 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①年末イベント確認 ②個々の対応の振り返り・職員間コミュニケーション・組織の醸成 ③ケア担当(休職期間)④介護福祉士実習指導者講習会 ⑤課内係について(下半期案)⑥非常勤職員の働き方について
9	12/12 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①年末・年始の課内イベントや提供サービス(入浴・リネン等)について ②新規利用者(U氏)の居室場所・ケア担当 ③業務内容一覧表の運用について ④ありがとうカード 振り返り ⑤夜間緊急対応マニュアルの見直し ⑥気づきBOXからの意見 ⑦平準化スケジュールについて
10	1/9 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①新職指導者について ②次年度課内予算要望について ③OJT企画提案について ④ありがとうカードの振り返り
11	2/13 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況 <検討>①次年度の体制について ②次年度事業計画について ③調布市虐待通報について ④女性職員面談に関する報告 ⑤お花見会について
12	3/12 (木)	<報告>職員人事(採用状況含む)、次月職員体制想定、運営会議報告、利用者状況、和太鼓イベント <検討>①新型コロナウイルス感染(拡大)防止 ②障害者虐待通報について ③M氏着取りについての振り返り ④お花見おやつタイム実施期間について

ユニット会議			
	日付	ユニット	主たる議題
1	4月9日	つばき	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	4月16日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	4月23日	さくら	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	4月30日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
2	5月7日	つばき	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	5月14日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	5月21日	さくら	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
	5月28日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、職員行動規範の浸透を目的としたグループワーク
3	6月4日	つばき	運営会議報告、ケース検討、N氏ラストカンファレンス
	6月11日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、N氏ラストカンファレンス
	6月18日	さくら	運営会議報告、ケース検討、N氏ラストカンファレンス
	6月25日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、N氏ラストカンファレンス
4	7月2日	つばき	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	7月9日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	7月16日	さくら	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	7月23日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
5	8月6日	つばき	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	8月13日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	8月20日	さくら	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
	8月27日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、ユニットグループ活動の検討
6	9月3日	つばき	運営会議報告、ケース検討、
	9月10日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討、
	9月24日	さくら	運営会議報告、ケース検討、
	10月1日	こすもす	運営会議報告、ケース検討、
7	10月1日	つばき	運営会議報告、ケース検討
	10月8日	ひまわり	運営会議報告、ケース検討

利用者会議			
	日付	場所	主たる議題
1	4月23日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、グループ外出、イベント入浴） 2、職員関係など（人事、実習生受け入れ予定） 3、みずきからのお知らせ（入居支援課事業計画、誕生日食、トロミ剤の個人負担、フィジカルアセスメント 等） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定、防災訓練 等） 5、意見交換
	4月25日		
2	5月23日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、グループ散策、ケアプラン契約のお知らせ） 2、職員関係など（人事、実習生の予定） 3、みずきからのお知らせ（施設来訪者の受付について） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、普通救命講習実施について 等） 5、意見交換
	5月28日		
3	6月25日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、夏季散策中止、課内夏イベントについて） 2、職員関係など（人事、実習生の予定） 3、みずきからのお知らせ（療護施設自治会全国ネットワーク、インターンシップ、定期健康診断について） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、防犯研修について 等） 5、意見交換
	6月27日		
4	7月23日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、花火イベントについて） 2、職員関係など（人事、実習生の予定） 3、みずきからのお知らせ（インターンシップ、熱中症予防について） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告 等） 5、意見交換
	7月25日		
5	8月22日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、グループ散策について、みずき祭り） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（インターンシップ、防災訓練、ラグビーWC、みずき増築改修計画 等） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定 等） 5、意見交換
	8月27日		
6	9月24日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、ケアプラン半期見直し） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（会社説明会、新規入居者の紹介、金銭事故報告、入居支援課職員体制に関わるお願い） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定 等） 5、意見交換
	9月26日		
7	10月22日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、ハロウィンイベント、外部リサイクルイベント） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（会社説明会・選考会、第三者評価利用者調査依頼、金銭事故再発防止、増築改修工事） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定、インフルエンザ予防接種 等） 5、意見交換
	10月24日		
8	11月26日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、クリスマスイベント、餅つきイベント） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（冬季インターンシップ、感染症予防月間、増築改修工事） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定、防災訓練 等） 5、意見交換
	11月28日		
9	12月24日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、年末・年始イベントの紹介） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（新規入居者紹介、入浴縮小、インターンシップ、増築改修工事、ネットスーパー） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定 等）、 5、意見交換
	12月26日		
10	1月23日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、音楽イベント） 2、職員関係など（人事、実習生予定） 3、みずきからのお知らせ（インターンシップ、増築改修工事、定期健康診断、入浴縮小） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定 等） 5、意見交換
	1月28日		
11	2月25日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、お花見おやつタイム、長時間外出の自粛） 2、職員関係など（人事、実習生予定） 3、みずきからのお知らせ（リハビリテーション実施計画書、会社説明会、増築改修、計報） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動予定、防災訓練 等） 5、意見交換
	2月27日		
12	3月24日	ユニット	1、生活の充実のために（次月日中活動予定、コロナウイルスに伴う外出支援中止・ケアプラン契約延期 等） 2、職員関係など（人事） 3、みずきからのお知らせ（次年度事業計画重点目標、虐待の発生と改善計画） 4、安心・安全について（前月の事故ヒヤリ報告、苦情相談報告、次月第三者委員活動中止のお知らせ 等） 5、意見交換
	3月26日		

2019年度「通所支援課全体会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月23日	1. 係委員会報告 2. リーダー（5月の月間目標「丁寧な言葉遣いを心掛けましょう」・日帰り外出） 3. サビ管（利用者状況） 4. 看護（吸引研修進捗状況） 5. マネージャー（運営報告・人事・会議報告等）
2	5月28日	1. 係委員会報告（権利擁護研修・防災訓練など） 2. リーダー（5月の月間目標「基本を守り安全に業務を行う」・外国人技能実習） 3. サビ管（利用者状況） 4. 看護（吸引研修進捗状況） 5. マネージャー（運営報告・人事・会議報告等）
3	6月25日	1. 係委員会報告 2. リーダー（・外国人技能実習） 3. サビ管（利用者状況） 4. 看護（吸引研修進捗状況） 5. マネージャー（運営報告・人事・会議報告等）
4	7月23日	1. 防犯研修 2. 係委員会報告（流しそうめん・夏フェスなど） 3. リーダー（外国人技能実習生の研修の進捗状況） 4. サビ管（利用者状況/新規利用希望者） 5. 看護（吸引研修進捗状況） 6. マネージャー（運営報告・人事・会議報告等）
5	8月27日	1. 係委員会報告（お菓子づくり、夜間防災訓練等） 2. リーダー（・利用者トイレ増設、日中一時利用者ノート記録の充実等） 3. サビ管（利用者状況、ケアプラン中間評価） 4. 看護（吸引研修進捗状況） 5. マネージャー（運営報告・人事・会議報告、人事考課フォローアップ研修等） 6. 検討事項 服薬について
6	9月24日	1. 係委員会報告（夜間防災訓練、新人研修、衛生基準見直し等） 2. リーダー（・営繕業務/食器洗い、昼食下膳、職員コーヒーについて等） 3. サビ管（利用者状況、ケア担当変更、ケアプラン中間評価） 4. 看護（喀痰吸引一号研修について） 5. マネージャー（運営報告・人事考課日程） 6. 予備監査の必要書類、運転手へのお礼について
7	10月22日	1. 係委員会報告（夜間防災訓練、新人研修、衛生基準見直し等） 2. リーダー（・営繕業務/食器洗い、昼食下膳、職員コーヒーについて等） 3. サビ管（利用者状況、ケア担当変更、ケアプラン中間評価） 4. 看護（喀痰吸引一号研修について） 5. マネージャー（運営報告・人事考課日程） 6. 予備監査の必要書類、運転手へのお礼について
8	11月26日	1. 係委員会報告（イベント係/柚子湯、クリスマスオーケストラ、餅つき等） 2. リーダー（・初詣外出、送迎時間の変更、外国人技能実習生について等） 3. サビ管（利用者状況、新規利用者、契約終了） 4. 看護 5. マネージャー（運営報告・改修工事、音楽ワークショップについて等） 6. その他
9	12月24日	1. 係委員会報告（トイレ改修工事） 2. リーダー（新規利用者の受け入れについて、外国人技能実習生について等） 3. サビ管（ケア担当、利用者状況、新規利用者、契約終了者） 4. 看護 5. マネージャー（運営報告、人事、勤務表等） 6. その他
10	1月28日	1. 係委員会報告 2. リーダー（・外国人技能実習生について等） 3. サビ管（ケアプラン作成、個別対応マニュアル更新について） 4. 看護（研修状況、バイタル研修） 5. マネージャー（勤務関係、人事、会議報告等） 6. その他（初詣外出）
1 1	2月25日	1. 防災シミュレーション～地震想定～（リスク管理会議） 2. 係委員会報告（アンガーマネジメント研修など） 3. リーダー（送迎時刻表変更、外国人技能実習生について） 4. サビ管（新年度ケアプラン、現行ケアプラン期末評価） 5. 看護（研修状況） 6. マネージャー（運営関係報告、人事、会議報告等）
1 2	3月24日	1. 係委員会報告 2. リーダー（新送迎時刻表、外国人技能実習生、業務分担、係編成等） 3. サビ管（利用者状況） 4. 看護（研修状況） 5. マネージャー（勤務関係、人事、会議報告等） 6. その他

2019年度「通所支援課運営委員会」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（4月からの新規利用N氏について）</li> <li>3. 家族懇談会（内容の検討、外国人技能実習生、新人職員紹介等）</li> <li>4. 一日外出について（内容の確認）</li> <li>5. 非常勤職員の時給設定について</li> <li>6. 東京都重症心身障害児（者）通所事業について</li> <li>7. 外国人技能実習生について（必要物品の確認、受け入れのスケジュール等）</li> </ol>
2	5月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（利用希望者・H氏、I氏/施設入所面談・U氏）</li> <li>3. 送迎体制について</li> <li>4. 外国人技能実習生について</li> <li>5. 事故（忘れ物）の対策について</li> <li>6. 事業計画の推進</li> </ol>
3	6月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況</li> <li>3. 職員行動規範について</li> <li>4. 外国人技能実習生について（国際交流サロン見学、勉強に通う予定）</li> <li>5. ワイズマンA S Pについて</li> <li>6. 事業計画の推進</li> </ol>
4	7月9日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（I氏 担当者会議25日みーな実施、リーダー研修）</li> <li>3. 家族懇談会（内容の検討）</li> <li>4. 外国人技能実習生について</li> <li>5. 送迎関係（みずき祭り送迎体制、運転講習）</li> <li>6. 事業計画の推進</li> </ol>
5	8月13日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議（介護職員等特定改善加算、事業展開等）</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（新規利用希望A氏利用調整、利用希望I氏等）</li> <li>3. 胃腸ケアフォローアップ研修（9月より職員も経管栄養の対応を行なう）</li> <li>4. 利用者対応の意識について（抜薬をなくす、陰洗の実施等）</li> <li>5. 送迎関係（武州交通との引継ぎ等）</li> <li>6. 事業計画推進</li> </ol>
6	9月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議（人事考課スケジュール、P Cの更新等）</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（A氏、K氏、N氏、H氏状況確認等）</li> <li>3. 移動について</li> <li>4. 三鷹市A氏の送迎時の対応について</li> <li>5. 送迎関係（武州交通との引継ぎ、車両の待機場所等）</li> <li>6. 事業計画推進 7. 家族懇談会、外国人技能実習生について</li> </ol>
7	10月8日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（新規利用者 府中市T氏）</li> <li>3. 送迎関係（武州交通との連絡方法、新規受け入れ対応時期等）</li> <li>4. 監査について（10月10日実施）</li> <li>5. 三市協議会について</li> <li>6. 外国人技能実習生について</li> </ol>
8	11月12日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（新規利用者 府中市T氏、三鷹市M氏送迎）</li> <li>3. 家族懇談会の議題について</li> <li>4. トイレ改修時の荷物置き場について</li> <li>5. 事業計画推進</li> <li>6. その他</li> </ol>
9	12月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議（次年度の方向性の検討）</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（新規利用者 府中市T氏、三鷹市Y氏）</li> <li>3. 外国人技能実習生（学科、実技の試験1月16日・対象利用者確認）</li> <li>4. 次年度予算編成（期日までに必要物品を提案する）</li> <li>5. 事業計画推進</li> <li>6. その他 年末年始の予定・大掃除</li> </ol>
10	1月14日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議（次年度の方向性の検討）</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（新規利用者 府中市T氏、三鷹市Y氏）</li> <li>3. 理美容サービスについて（開始時間について）</li> <li>4. 一日外出について（武州交通に依頼するかの検討）</li> <li>5. 事業計画推進</li> <li>6. その他（オリンピック、パラリンピックの交通計画等の説明）</li> </ol>
11	2月11日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議（次年度の方向性の検討）</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（府中市Y氏の食事について三鷹市Y氏週5利用）</li> <li>3. 理美容サービスについて（報告）</li> <li>4. 一日外出について（9月～11月の実施）</li> <li>5. 会議体、委員会及び課内メンバーについて</li> <li>6. 令和2年度事業計画について</li> </ol>
12	3月10日	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 報告 月次報告、運営会議</li> <li>2. 利用者状況、職員状況（三鷹市Y氏週5利用）</li> <li>3. 送迎ダイヤの改定について</li> <li>4. 一日外出について（次年度の実施について）</li> <li>5. 外国人技能実習生について（研修方法等）</li> <li>6. 家族懇談会について</li> <li>7. その他（課内内部研修について・継続の希望あり全体会議で実施）</li> </ol>

2019年度「家族懇談会」実施報告書		
	日付	主たる議題
1	4月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営報告(人事に関する報告、他)・第三者評価報告</li> <li>・事業計画、予算の説明</li> <li>・みずき通所時の手続き</li> <li>・一日外出の実施について</li> <li>・こまえ工房のクッキー販売について</li> <li>・喀痰吸引について</li> </ul>
2	9月16日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営報告(人事に関する報告、他) 新人職員紹介等</li> <li>・第三者評価の実施について</li> <li>・みずき祭りについて</li> <li>・みずきの将来構想 (・喫茶 ・厨房 ・送迎体制)</li> <li>・活動報告 (スライド上映)</li> <li>・その他、意見交換 (ラグビーワールドカップに関して)</li> </ul>
3	1月13日	<ul style="list-style-type: none"> <li>・運営報告(人事に関する報告、他)</li> <li>・初詣外出について</li> <li>・みずきの増築、改修工事について</li> <li>・歯ブラシエプロン等の持ち帰りについて</li> <li>・その他、意見交換 (オリンピックの交通規制に関して)</li> </ul>

### 2019年度「グループミーティング」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月10日 Cグループ	<p>前回からの検証</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏 自力摂取の促し残存機能を生かす。</li> <li>・H氏 排泄を二人介助にする。</li> <li>・K氏 入浴前のトイレ誘導について女性職員全員で共通の認識を持つようにする。</li> <li>・T氏 水分の拒否がある。対応方法を検討する。</li> </ul>
2	4月17日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 車いす上でア頭を振る動作あり</li> <li>・M氏 胃瘻交換により入院あり。痰がらみが多く見られた。</li> <li>・H氏 利用日を週1日から2日に増やしたいとの希望あり。</li> <li>・O氏 PTの理科はぶり。</li> <li>・Y姉妹の静養、入浴時などの対応に付いて。</li> </ul>
3	5月1日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K氏 感情のコントロールが難しい時がある為、今後も様子を見ていく。</li> <li>・S氏 咽こみが多い。スプーンに乗せる食べ物の量や、食物の加工方法を検討する。</li> <li>・N氏 筋緊張が強い。ポジショニングの検討をする。</li> <li>・N氏 発作の後に泣きだしが多く見られるため、記録に残していく。</li> <li>・H氏 利用日毎に歩行訓練を実施する。</li> <li>・M氏 食事、活動、外出時には短下肢装具を着用する。</li> </ul>
4	5月15日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 口腔ケア後の発作がよくみられる、目が充血しているため、点眼薬を使用している。</li> <li>・S氏 入浴をラダーライラックに変更。</li> <li>・I氏 腎臓の機能が低下してきている。歩行品後が減少している。</li> <li>・Y氏 咽こみが多く、食形態の変更を検討。</li> <li>・N氏 胃瘻をボタン式に変更。</li> <li>・K氏 皮膚トラブルが多く見られている。</li> </ul>
5	6月5日 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏 スプーンの持ち方についてOTより提案がある、水分の摂取量について。</li> <li>・K氏 電動車椅子の2度目の判定あり。</li> <li>・S氏 体調不良の訴えが多く、精神面が大きく関係している様子。</li> <li>・O氏 来所してすぐに入浴してもらうよう打診する。</li> </ul>
6	6月18日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U氏 入所の件は見送り。</li> <li>・S氏 5月6日に服薬の変更があるが首振りの状態に変わりなし。</li> <li>・H氏 物忘れが多くなっている。利用日増の希望あり。</li> <li>・Y・Y氏 マットでの静養を継続。個別支援外出は中止。</li> <li>・Y・A氏 昼食を自力摂取することになりおにぎりを持参している。</li> </ul>

7	7月3日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K氏 SS利用中に水分を過剰摂取してしまう為、今後検討が必要。</li> <li>・N氏 意思をO×シートを活用し表出する。皮膚や目のかゆみについて家族に相談。</li> <li>・N氏 どのような活動に興味を示すのか探っていく。</li> <li>・M氏 送迎車内での発声を少なくする為、自宅より麦茶を持参し車内で飲用する。</li> <li>・N氏 利用にも慣れ、笑顔が多く見られてきている。</li> </ul>
8	7月17日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 筋緊張が強く痛みの為か、泣く事が多い。体調良好の際は活動参加をする。</li> <li>・S氏 身体の傾きが大きく入浴方法の変更を検討。</li> <li>・Y氏 吸引が頻回になり嘔吐反射も多くあり。テープ式オムツのサイズアップを再検討。</li> <li>・K氏 主治医よりペースト食への移行の指示があるが、検討の結果現状維持。食事、水分摂取の際、トロミを使用。皮膚の赤みや腫れが多く見られた。</li> </ul>
9	8月7日 Cグループ	<p>職員行動規範についての意見交換 6月の会議で話し合った内容についての検証。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏の自力摂取のスプーンの角度や持ち方について。</li> <li>・N氏の入浴湯沈の際、上半身を上げる。</li> </ul> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏の朝の水分が紅茶から麦茶に変更。・T氏の座席の位置を変更。</li> </ul>
10	8月21日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U氏 自宅で血尿あり。</li> <li>・S氏 発作が多く見られている。</li> <li>・C氏 日中の活動参加を促す。</li> <li>・M氏 昼夜逆転をしている為日中は覚醒を促す。</li> <li>・H氏 尿失禁が増えている。</li> <li>・O氏 寝つきが悪く自宅で眠剤を使用している。</li> </ul>
11	9月4日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・K氏 物忘れが多くなっている。右足の爪が化膿し経過観察中。</li> <li>・N氏 O×ボードを活用、新しいボードの作成を検討する。</li> <li>・H氏 歩行訓練を継続中。10月7日に個別支援で甲府に行った。</li> <li>・M氏 車椅子上で短下肢装具を着用することになる。</li> <li>・S氏 トイレからの転落事故の対策として、トイレ用に専用のペーパー入れを設置。</li> <li>・N氏 秋から冬にかけて痰が多くなる為経過を観察する。</li> </ul>
12	9月18日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 姿勢保持の為ベッドでギャジアップして過ごしている。</li> <li>・S氏 姿勢の傾きが大きくなり危険なため、入浴をラダーに変更している。</li> <li>・I氏 貧血はあるが腎機能は改善傾向にあり体調面は落ち着いている。</li> <li>・Y氏 自身の手で顔を引っ掻いてしまう為、ハンドロールの使用を検討。</li> <li>・K氏 マットへの移乗の際、身体への負担軽減でスリングシートを出来るだけ使用。</li> <li>・Y氏 トイレ誘導への拒否が強いことがある。テープ式オムツのサイズアップを打診。</li> </ul>
13	10月9日 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・T氏 一日のトータル水分は良く摂取できている。自助具のスプーンを購入。</li> <li>・k氏 食事の際、箸を使用せずスプーンにすることを検討する。</li> <li>・H氏 入院中だが、グループホームを探している。</li> <li>・S氏 入浴時、湿布を貼る場所が増えておえい、対応について家族に確認する。</li> <li>・A氏 利用を開始したが、今後情報を増やしていく。</li> <li>・N氏 反り返りが多いが左側臥位にすると緩和される。</li> </ul>
14	10月16日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U氏 9月に発熱あり、血尿なし。スヌーズレンに参加している。</li> <li>・S氏 9月に1回発作あり。利用中は食事がとれているが体重が減少している。</li> <li>・C氏 個別支援で散策、アロマ、音楽鑑賞等を行なう。</li> <li>・M氏 9月に4回、10月に2回発作あり。日中覚醒していることが多い。</li> <li>・H氏 10月に頭痛の為通院。</li> <li>・O氏 リハビリで歩行訓練をしている際、眠気の訴えあり。眠剤の影響や睡眠不足。</li> </ul>
15	11月6日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・N氏 築地への個別支援外出、H氏 山梨への個別外出を実施。</li> <li>・S氏 水分補給について、筋緊張による皮むけ、かぶれについて。</li> <li>・H氏 昼食時の発作の対応について。</li> <li>・N氏 体重増加により注入する水分を麦茶に変更。</li> <li>・M氏 新しい装具ができるまで靴を着用。11月に引っ越しを予定。</li> <li>・H氏 本を読みたいとの希望あり読み聞かせを行っていく。</li> </ul>
15	11月20日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・N氏 11月より利用再開、長期入院での体力低下、肌荒れあり。</li> <li>・U氏 火曜の帰宅時にテープ式オムツを着用。高幡不動へ個別外出を予定。</li> <li>・K氏 新しい車椅子を作成、ヘッドレストの取り付けに不備あり調整する。</li> <li>・Y氏 S Tによる嚥下の判定を実施、食事の際の姿勢保持用のクッションを使用。</li> <li>・S氏 筋緊張が強く、リオレサルを追加。点眼、左耳の赤みにアズノールを塗布。</li> <li>・H氏 車椅子からのずり落ちあり、職員の目の届く場所やマットで様子を見る。</li> </ul>

16	12月4日 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 貼る湿布の枚数増加の為、軟膏に変更。白癬菌の薬はN Sが塗布する。</li> <li>・N氏 マットで反り返りが強いときは左側臥位にする。経鼻経管チューブ抜去あり。</li> <li>・H氏 栃木のグループホームに入居し契約終了。</li> <li>・K氏 八王子の施設に入居し契約終了。</li> <li>・A氏 排泄、移乗は二人介助。腰を入れる際は呼吸に合わせて行う。</li> <li>・T氏 車椅子で長時間座位なので、P Tに相談し軽い体操をなど体を動かす。</li> </ul>
17	12月18日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・M氏 車椅子の修理を実施。唾液が多く、首回りにかぶれができる。</li> <li>・O氏 10月の検査で肺気腫の疑いありとの診断、禁煙を勧められる。</li> <li>・Y氏 (姉) めまい、ふらつきなどで休む。</li> <li>・Y氏 (妹) 11月よりスリングシートを使用し移乗を開始する。</li> </ul>
18	1月29日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 1月30日新しい装具納品。風邪症状改善。</li> <li>・H氏 グループホームの職員との関係性で悩みあり。風邪のため昼食薬を持参。</li> <li>・N氏 排尿間隔が長く尿漏れが多い為、交換のタイミングを検討する。</li> <li>・Y氏 リハビリパンツやパッドの重ねばきについて検討。自傷行為あり。入浴は自宅で実施。</li> <li>・H氏 食事中にトイレに行く事がある為、食前に声掛けを実施。新しい楽しみを模索中。</li> <li>・S氏 送迎時、昼食時に発汗あり、衣類や室温に注意する。個別外出の予定あり。</li> </ul>
19	1月15日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 11月21日にボトックスを行ない一時的に反り返りが改善。感染症は(-)。</li> <li>・I氏 12月より土曜日の利用が増え、入浴日も木から土に変更。</li> <li>・S氏 身体の傾きが強く、転倒、転落に注意する。</li> <li>・N氏 頭ば左に向く事が多い為固まってしまわない様に排泄時に身体を動かす。</li> <li>・Y氏 11/13~/29まで胃瘻交換の為入院。痰がらみも変わらず多い。</li> <li>・U氏 11月に個別支援で高幡不動に行く。最近は興奮強いことはない。</li> </ul>
20	2月5日 Cグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 入浴後、湿布を貼ることを止め、インテバンクリームの塗布のみ実施する。</li> <li>・N氏 反り返りが強い際は、左側臥位や腹臥位にして様子を見る。 入浴時の経鼻経管チューブ抜去防止の為、チューブはゴムで結び、ストレッチャーのヘッドレストにはタオルを巻いて対応する。</li> <li>・A氏 連絡帳への排尿量の記載はなしとなる。</li> <li>・T氏 午後に八木PTと歩行器を使用し立ち上がり動作訓練を実施している。</li> </ul>
21	2月19日 Dグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・U氏 帰りの送迎時、武州交通からの申し出により助手席ではマスクを着用している。</li> <li>・S氏 12月に数回発作があった以外は体調変わりなし。</li> <li>・M氏 昼夜逆転傾向。痰がらみや唾液が多くタオル類が不足している。</li> <li>・H氏 傾眠傾向が強いが活動には積極的に参加している。</li> <li>・O氏 禁煙した影響か体重が5 k gほど増加している。</li> </ul>
22	3月4日 Aグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・H氏 送迎車のドアや壁を自身の爪で引っ掻く為、クッション等で保護し様子を見る。</li> <li>・K氏 新しい装具が完成。個別外出は新型コロナウイルス感染拡大の為中止。</li> <li>・N氏 2月上旬よりアレジオン点眼薬、フルナーゼ点鼻薬処方、アレジオン点眼薬を使用。</li> <li>・H氏 個別支援で興味を探る為、Ipadで絵本の動画を鑑賞。血圧の数値は改善。</li> <li>・S氏 送迎車内での温度に配慮。食事の際のスプーンに乗せる量を少なくする。</li> <li>・H氏 3月の個別外出は新型コロナウイルス感染拡大のため中止。1月に風邪を引く。</li> </ul>
23	3月18日 Bグループ	<ul style="list-style-type: none"> <li>・S氏 反り返り強く、車椅子で座位ではいられない為ベッドを使用していく。</li> <li>・I氏 1月痰がらみ多くムコダインを服用。3月に発熱・嘔吐(黒色の吐物)3/14より尿も便も出ず胃薬よりの注入もできず、DrへTEL緊急入院。肺炎・腸閉塞・尿路感染症診断され、腸閉塞は開腹手術し問題はなくなるも尿閉腎機能低下する。</li> <li>・S氏 個別支援で手芸や映画鑑賞の希望あり。レンタル車椅子の使用で右への傾き改善。</li> <li>・Y氏 陰囊の発赤かぶれ踵・左臀部に褥瘡あり、訪問看護の情報提供を行なう。</li> </ul>

2019年度「栄養科会議」実施報告書

	日付	主たる議題
1	4月19日	運営会議、会議委員会、管理栄養士報告 利用者聞き取り意見について 5月行事献立について 労働安全衛生
2	5月16日	運営会議、会議委員会、管理栄養士報告 利用者聞き取り意見について トロミ剤について 有給について カフェ会議について ゼリー食について 労働安全衛生
3	6月20日	運営会議、会議委員会、管理栄養士報告 採用面接について お粥、パン粥について 利用者聞き取り意見について 労働安全衛生
4	7月18日	人員欠員に伴い中止
5	8月15日	運営会議、会議委員会、管理栄養士報告 利用者聞き取り意見について カフェ会議について 採用状況 ラグビーワールドカップ開催に伴う影響について 労働安全衛生
6	9月19日	人員欠員に伴い中止
7	10月17日	人員欠員に伴い中止
8	11月21日	人員欠員に伴い中止
9	12月19日	人員欠員に伴い中止
10	1月16日	人員欠員に伴い中止
11	2月20日	人員欠員に伴い中止
12	3月19日	人員欠員に伴い中止